

Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S6600

クールピクス S6600
使用説明書

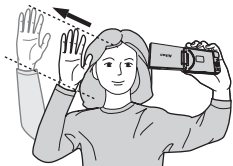


Jp



COOLPIX S6600のおすすめ機能

👏 ジェスチャー操作 - 自分撮りが簡単にできる



このカメラの液晶モニターは、向きや角度を調節することができます。

[ジェスチャー操作] と組み合わせて使うことで、より簡単に自分撮りができます。

- ・液晶モニターを開き、カメラのレンズ面と同じ方向に向けると、シャッターボタンを使わずに、液晶モニターに表示されるアイコンに向かって手を動かすだけで撮影できます。



📷 方向に手を動かす



カウントダウンが始まる



写真が撮れる

- ・以下の撮影機能が使えます。

- 📹：動画撮影開始
- 📷：静止画撮影
- 📷：広角ズーム
- 🔍：望遠ズーム

はじめに

各部の名称

撮影と再生の基本ステップ

いろいろな撮影

いろいろな再生

動画を撮影、再生する

カメラに関する基本設定

Wi-Fi（無線LAN）を使う

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

付録、索引

はじめに

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S6600をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
まず、

お使いになる前に、本製品の使用方法や「安全上のご注意」(□vii～xiii)をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。



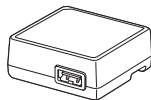
COOLPIX S6600
カメラ本体



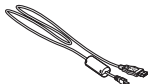
ストラップ



Li-ion リチャージャブル
バッテリー EN-EL19
(バッテリーケース付き)



本体充電 AC アダプ
ター EH-70P



USB ケーブル
UC-E6



ViewNX 2 CD



活用ガイド CD

- ・ 使用説明書
- ・ 保証書
- ・ 登録のご案内

※メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」(□10)をご覧ください。

また、カメラ各部の名称や液晶モニターの表示については、「各部の名称」(□1)をご覧ください。

●付属の「活用ガイド CD」について

「活用ガイド」をPDFファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。

Adobe Readerで閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイド CD」の内容を見るには

- 1 パソコンを起動し、「活用ガイド CD」をCD-ROMドライブに入れる。
- 2 **Windowsの場合**：[コンピューター]（Windows XPの場合は[マイコンピュータ]）ウィンドウを開き、CD-ROM（**COOLPIX S6600**）アイコンをダブルクリックする。
Mac OSの場合：デスクトップのCD-ROM（**COOLPIX S6600**）アイコンをダブルクリックする。
- 3 INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、[活用ガイド]をクリックする。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
☒	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
📄/🔍	関連情報が記載されているページです。🔍は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[] で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないこととなります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリ（電池、バッテリーチャージャー、本体充電ACアダプター、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。



ホログラム
シール

・Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。

・模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの十分な性能が出せないことや、電池の異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。

- ・他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- ・説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ・説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- ・説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

<http://www.nikon-image.com/support/manual/>

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはおお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、[オープニング画面]（□□78）の[撮影した画像]も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。




VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。




この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は以下のようになっています。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告 (カメラについて)



分解禁止

分解したり、修理や改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。

電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を



禁止

通電中のカメラに長時間直接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。



発光禁止

車の運転者等にもむけてフラッシュを発光しないこと

事故の原因となります。



発光禁止

フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害の原因になります。

撮影時には、1 m 以上離れてください。

特に乳幼児の撮影には注意してください。



保管注意

幼児の口にはいる小さな付属品は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



保管注意

ストラップが首に巻きつかないようにすること
特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと
首に巻き付いて窒息の原因となります。



警告

指定の電源(電池、本体充電ACアダプターまたはACアダプター)
を使うこと
指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。



使用禁止

充電時やACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに
触れないこと
感電の原因となります。
雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

注意 (カメラについて)



感電注意

ぬれた手でさわらないこと
感電の原因になることがあります。



保管注意

製品は、幼児の手の届く所に置かない
ケガの原因になることがあります。



保管注意

使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあ
たらぬ所に保管すること
太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。



移動注意

三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと
転倒したりぶついたりしてケガの原因になることがあります。



使用注意

航空機内では、離着陸時に電源をOFFにすること
飛行中は無線通信機能を使わない
病院では病院の指示に従うこと

本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。Eye-Fiカードは、あらかじめカメラから取り外してください。



電池を取る

長期間使用しないときは電源(電池、本体充電ACアダプター、ACアダプター)を外すこと

電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。本体充電ACアダプターやACアダプターをお使いの際には、電源プラグをコンセントから抜いて、その後でカメラを取り外してください。火災の原因になることがあります。



プラグを抜く

内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないことやけどや発火の原因になることがあります。



発光禁止

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



禁止

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
故障や火災の原因になることがあります。



放置禁止

付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと
機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。



禁止



危険 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



分解禁止

電池を分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

専用の充電器を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



使用禁止

Li-ionリチャージャブルバッテリーEN-EL19は、ニコンデジタルカメラ専用の充電電池でCOOLPIX S6600に対応しています。EN-EL19に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



危険

ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。
持ち運ぶときはバッテリーケースに入れてください。



危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて)



保管注意

電池は、幼児の手の届く所に置かない
幼児の飲み込みの原因となります。
飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。



水かけ禁止

水につけたり、ぬらさないこと
液もれ、発熱の原因となります。



使用禁止

変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。



警告

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則に従って廃棄してください。



警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。



警告 (本体充電ACアダプターについて)



分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。



接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



すぐに修理依頼を

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く際、やけどに充分注意してください。

電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。



水かけ禁止

水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。



使用禁止

引火、爆発のおそれのある場所では使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。

**警告**

電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること

そのまま使用すると火災の原因になります。

**使用禁止**

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないこと

感電の原因となります。

雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

**禁止**

ケーブルを傷つけたり、加工したりしないこと

また、重いものを載せたり、加熱したり、引っばったり、むりに曲げたりしないこと

ケーブルが破損し、火災、感電の原因となります。

**感電注意**

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと

感電の原因になることがあります。

**禁止**

海外旅行者用電子式変圧器(トラベルコンバーター)やDC/ACインバーターなどの電源に接続して使わないこと

発熱、故障、火災の原因となります。

**禁止**

通電中のACアダプターに長時間直接接触れない

使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

**注意** (本体充電ACアダプターについて)**感電注意**

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

**放置注意**

製品は、幼児の手の届く所に置かない

ケガの原因になることがあります。

**禁止**

布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

Wi-Fi（無線LAN）機能について

● 電波に係わるご注意

- 本製品の Wi-Fi の無線機能は、ご購入された国の法令に準拠し、ご購入された国以外では使用できません。

ご購入された国以外での使用について、当社は一切の責任を負いません。

ご購入された国がわからないときは、本書裏面に記載のニコン カスタマーサポートセンターにご相談ください。

● Wi-Fi（無線LAN）機能のご注意

2.4 DS4 / OF4

Wi-Fi（無線LAN）機能：2.4DS4/OF4

本製品の使用周波数は 2.4 GHz 帯、変調方式は DSSS、OFDM、与干渉距離は約40 mです。

- 本製品は、「電波法」に基づく技術基準適合認証を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示しています。

以下の行為は法令で罰せられることがあります。

- 本製品の分解/改造
- 本製品から証明ラベルをはがす
- 本製品の使用周波数帯は、以下の機器や無線設備と同じです：
 - 電子レンジなどの産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等の移動体識別用の
 - ① 構内無線局（免許を要する無線局）
 - ② 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
 - アマチュア無線局（免許を要する無線局）

これらの無線設備の近くでは、電波干渉で通信速度の低下、通信距離の短縮、通信の途絶が双方に生じることがあります。

- 本製品で電波干渉を起こさないよう、以下にご注意ください。
 - 使用周波数帯が同じ無線設備が近くにないか？事前に確認する
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に電波干渉を生じたら、Wi-Fi アクセスポイントのチャンネル番号を変更して使用周波数を変える
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面に記載のニコンカスタマーサポートセンターにご相談ください。
- データの送受信は、第三者に傍受される危険性にご留意ください。
データ送受信による情報漏洩には、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、電子レンジなどの電気製品、AV機器、OA機器などの電磁波や磁気の発生源の周辺で使わないでください。
 - 雑音が増大したり、通信が途絶したりします。
 - AV機器、OA機器などの受信障害の原因になります。

● 本製品の使用上のご注意

本製品は、Wi-Fi（無線LAN）機器としてお使いください。

Wi-Fi 機器以外としての使用による損害は、当社では一切の責任を負いません。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に係わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使わないでください。
- Wi-Fi 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途では、使用システムの安全設計や故障に対する適切な処置をしてください。

● 本製品の輸出、持ち出しに係わるご注意

本製品は、米国輸出規制（EAR）を含む米国法の対象であり、米国政府指定の輸出規制国（キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリア）への輸出や持ち出しには、米国政府の許可が必要になりますので、ご注意ください。

なお、輸出規制国は変更されている可能性がありますので、詳しくは米国商務省へお問い合わせください。

● 個人情報の管理および免責事項

- 使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi（無線LAN）接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いで変化、消失する場合があります。

必要な内容は、お客さまの責任において控えを必ずおとりください。

当社の責によらない内容の変化、消失、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益には、当社は一切の責任を負いません。

- 本製品を譲渡/廃棄するときは、使用者によって本製品内に登録または設定された、Wi-Fi 接続設定等の個人情報を含む内容を、セットアップメニュー（□□79）の [設定クリア] で消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などで、第三者による不正使用の被害が発生しても、当社は一切の責任を負いません。

目次

はじめに	ii	撮影と再生の基本ステップ	10
はじめにお読みください	ii	準備 1 電池を入れる	10
箱の中身をご確認ください	ii	準備 2 電池を充電する	12
本書について	iii	準備 3 SD カードを入れる	14
ご確認ください	iv	内蔵メモリーとSDカードについて	15
安全上のご注意	vii	準備 4 表示言語と日時を設定する	16
Wi-Fi (無線 LAN) 機能について	xiv	ステップ 1 電源を ON にする	20
各部の名称	1	ステップ 2 撮影モードを選ぶ	22
カメラ本体	1	撮影モードの種類	23
ストラップの取り付け方	3	ステップ 3 カメラを構え、構図を決める	24
液晶モニターの開き方と角度調節	3	ズームを使う	25
メニューを使う (MENU ボタン)	4	ステップ 4 ピントを合わせ、シャッターをきる	26
液晶モニターの表示内容	6	シャッターボタンの半押しと全押し	27
撮影モード	6	ステップ 5 画像を再生する	28
再生モード	8	ステップ 6 画像を削除する	30

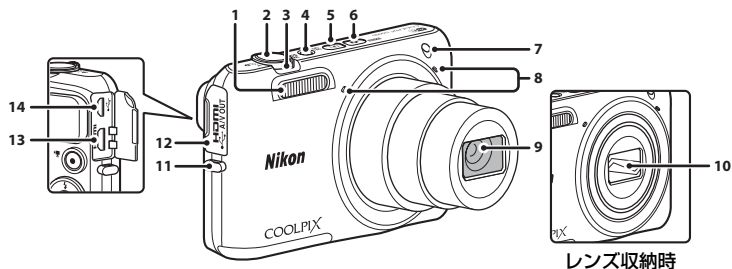
いろいろな撮影	32	MENU ボタンで設定できる機能（撮影メ	
窪（おまかせシーン）モード	32	ニュー）	57
シーンモード（シーンに合わせて撮影す		撮影メニューの種類	58
る）	34	組み合わせて使えない機能	60
ヒントとご注意	35	ピント合わせについて	63
スペシャルエフェクトモード（効果を付		ターゲットファインドAFについて	
けて撮影する）	40	63
ベストフェイスモード（笑顔を撮影す		顔認識撮影について	64
る）	42	美肌機能について	65
📷（オート撮影）モード	44	オートフォーカスが苦手な被写体	
クイックエフェクトを使う	45	66
ジェスチャー操作でセルフタイマー撮影		フォーカスロック撮影	67
をする	46		
マルチセレクターで設定できる機能			
.....	48		
フラッシュを使う	49		
セルフタイマーを使う	51		
マクロ（接写）モードを使う	53		
明るさを調整する（露出補正）	54		
初期設定一覧	55		

いろいろな再生	68	Wi-Fi (無線 LAN) を使う	80
拡大表示.....	68	Wi-Fi 機能でできること.....	80
サムネイル表示 / カレンダー表示	69	写真を撮る.....	80
MENU ボタンで設定できる機能 (再生メニュー)	70	写真を見る.....	80
		スマートデバイスにソフトウェアをインストールする	80
		カメラとスマートデバイスを接続する	81
動画を撮影、再生する	72		
動画を撮影する	72	テレビ、パソコン、プリンターとの接続	83
MENU ボタンで設定できる機能 (動画メニュー).....	75	カメラとの接続方法.....	83
動画を再生する	76	ViewNX 2 を使う.....	85
		ViewNX 2 をインストールする	85
カメラに関する基本設定	78	パソコンに画像を取り込む	88
MENU ボタンで設定できる機能 (セットアップメニュー)	78	画像を見る.....	90

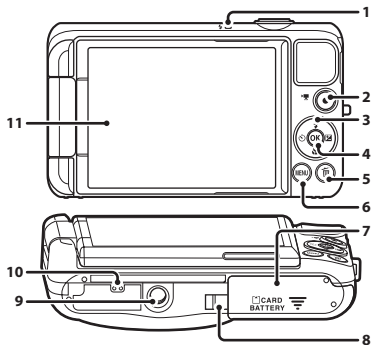
付録、索引	1
取り扱い上のご注意	2
カメラについて	2
電池について	3
本体充電ACアダプターについて	5
メモリカードについて	5
お手入れ方法	6
クリーニングについて	6
保管について	7
故障かな?と思ったら	8
主な仕様	17
推奨SDカード	21
索引	24
アフターサービスについて	31

各部の名称

カメラ本体



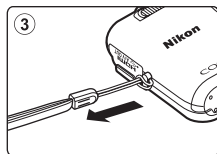
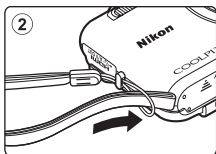
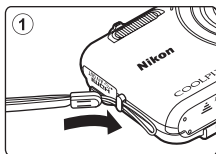
1	フラッシュ.....	49	7	セルフタイマーランプ	51
2	シャッターボタン	26		AF補助光	79
	ズームレバー.....	25	8	マイク (ステレオ)	
	W : 広角ズーム.....	25	9	レンズ	
	T : 望遠ズーム.....	25	10	レンズバリアー	
3	☒ : サムネイル表示.....	69	11	ストラップ取り付け部	3
	Q : 拡大	68	12	端子カバー.....	83
	ⓘ : ヘルプ.....	34	13	HDMIマイク口端子 (Type D)	83
4	電源スイッチ/電源ランプ.....	20	14	USB/オーディオビデオ出力端子	83
5	▶ (再生) ボタン	28		83
6	📷 (撮影モード) ボタン	22			



1	充電ランプ.....	13
	フラッシュランプ.....	49
2	● (▶▶動画撮影) ボタン.....	72
3	マルチセクター.....	4
4	OK (決定) ボタン.....	4
5	☒ (削除) ボタン.....	30
6	MENU(メニュー)ボタン	4、57、70、75、78

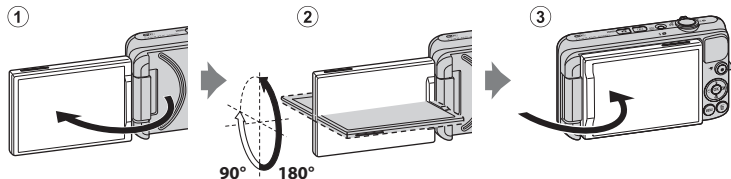
7	電池/SDカードカバー.....	10、14
8	パワーコネクターカバー(別売ACアダプター接続用)	
9	三脚ネジ穴	
10	スピーカー	
11	液晶モニター.....	3、6

ストラップの取り付け方



液晶モニターの開き方と角度調節

このカメラの液晶モニターは、向きや角度を調節することができます。カメラを高い位置や低い位置に構えて撮影するとき便利です。また、[ジェスチャー操作] (□46) と組み合わせて使うことで、より簡単に自分撮りができます。



通常は、モニター画面を外側にしてカメラ本体に収納した状態 (③) でお使いください。

カメラを使わないときや持ち運ぶときは、傷や汚れを防ぐためにモニター画面を内側にしてカメラ本体に収納してください。



✓ 液晶モニターについてのご注意

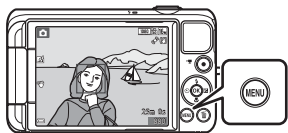
液晶モニターを動かすときは、無理な力を加えず、可動範囲内でゆっくりと回してください。

メニューを使う (MENU ボタン)

メニューの操作には、マルチセクターとOKボタンを使います。

1 MENU ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。



2 マルチセクターの◀を押す

- メニューアイコンが黄色で表示されます。



メニュー切り換えアイコン

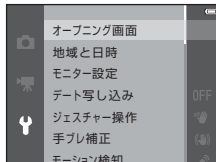
3 メニューアイコンを選ぶ

- メニューが切り換わります。

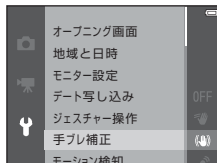


4 OK ボタンを押す

- メニュー項目が選べるようになります。

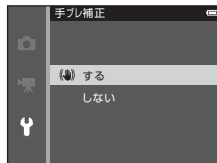


5 メニュー項目を選ぶ



6 OKボタンを押す

- 選んだメニュー項目の設定内容が表示されます。



7 設定内容を選ぶ




8 OKボタンを押す

- 選んだ設定内容が決定します。
- メニュー操作を終了するには、MENUボタンを押してください。



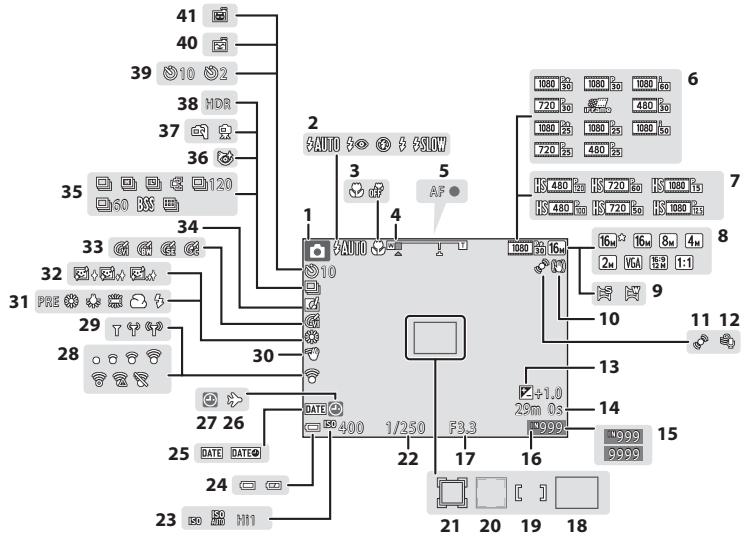
メニュー項目の設定方法について

- 撮影モードやカメラの状態によって、設定できないメニュー項目があります。この場合、その項目はグレーで表示されて選べません。
- メニュー画面から撮影画面にするには、シャッターボタン、 (撮影モード) ボタンまたは ● (●動画撮影) ボタンを押してください。

液晶モニター の表示内容

撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。
 初期設定では電源ON時や操作時などに表示され、数秒後に消灯します（[モニター設定]
 (□78) → [モニター表示設定] → [情報オート] 時）。

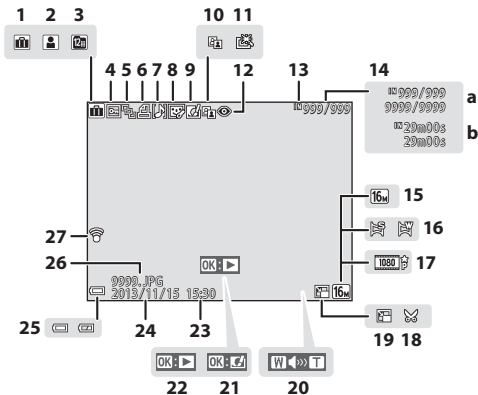
撮影モード



1	撮影モード	22、23	21	AFエリア（ターゲット追尾時）	58
2	フラッシュモード	49	22	シャッタースピード	27
3	マクロモード	53	23	ISO感度表示	58
4	ズーム表示	25、53	24	電池残量表示	20
5	AF表示	26	25	デート写し込み	78
6	動画設定（通常速度の動画）	75	26	訪問先	
7	動画設定（HS動画）	75	27	日時未設定	16
8	画像モード	58	28	Eye-Fi通信表示	79
9	かんたんパノラマ	38	29	Wi-Fi通信表示	79
10	手ブレ補正表示	78	30	ジェスチャー操作	46、78
11	モーション検知表示	79	31	ホワイトバランス	58
12	風切り音低減	75	32	美肌効果	59
13	露出補正值	54	33	ピクチャーカラー	58
14	記録可能時間（動画）	72	34	クイックエフェクト	45、58
15	記録可能コマ数（静止画）	20	35	連写モード	58
16	内蔵メモリー表示	20	36	目つぶり軽減	59
17	絞り値	27	37	手持ち撮影/三脚撮影	35、36
18	AFエリア（ターゲットファインドAF時）	26、58、63	38	逆光（HDR）	37
19	AFエリア（マニュアル、中央時）	58、67	39	セルフタイマー	51
20	AFエリア（顔認識時、ペット検出時）	39、42、58、64	40	笑顔自動シャッター	59
			41	ペット自動シャッター	39

再生モード

各部の名称

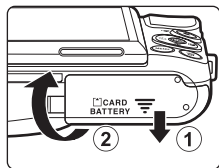


1	お気に入りフォルダー表示		14	(a) 画像の番号/全画像数	
2	オート分類項目表示			(b) 動画の再生時間	
3	撮影日一覧表示		15	画像モード.....	58
4	プロテクト表示.....	70	16	かんたんパノラマ.....	38
5	連写グループ表示（[1枚ずつ] 設定時）.....	71	17	動画設定.....	75
6	プリント指定表示.....	70	18	トリミング済み表示.....	68
7	音声メモ表示.....	70	19	スモールピクチャー.....	70
8	メイクアップ効果済み表示.....	70	20	音量表示.....	76
9	クイックエフェクト済み表示.....	29、45	21	クイックエフェクト設定ガイド.....	29
10	D-ライティング済み表示.....	70		かんたんパノラマ再生ガイド....	38
11	簡単タッチ済み表示.....	70	22	連写グループ再生ガイド.....	71
12	赤目補正.....	70		動画再生ガイド.....	76
13	内蔵メモリー表示.....	20	23	撮影時刻	
			24	撮影日	
			25	電池残量表示.....	20
			26	ファイル名	
			27	Eye-Fi通信表示.....	79

撮影と再生の基本ステップ

準備1 電池を入れる

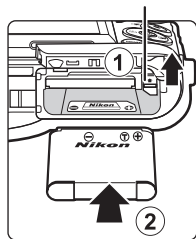
1 電池/SDカードカバーを開ける



2 電池を入れる

- ・ オレンジ色の電池ロックレバーを矢印の方向に押し上げながら (①)、奥まで差し込みます (②)。
- ・ 正しく入れると、電池が固定されます。

電池ロックレバー

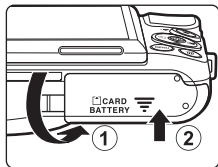


✓ 逆挿入に注意

電池の向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。



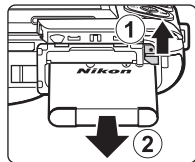
3 電池/SDカードカバーを閉じる



電池を取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

電池ロックレバーを矢印の方向に動かすと (①)、電池が押し出されます (②)。

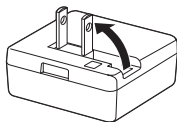


☑ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

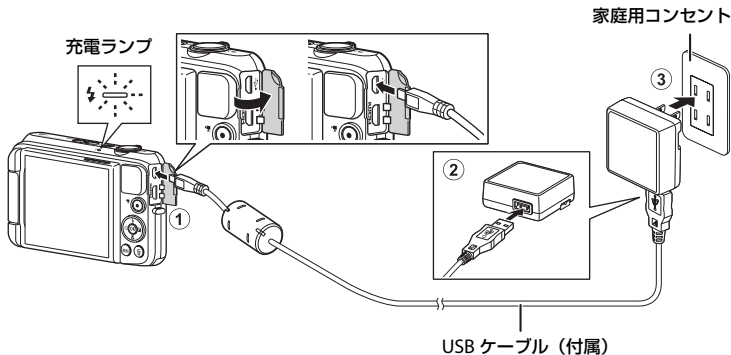
準備2 電池を充電する

1 付属の本体充電ACアダプターを用意する



2 電池を入れたカメラと本体充電ACアダプターを①～③の順に接続する

- ・電源はOFFにしたままにしてください。
- ・プラグの向きを確認して、まっすぐに差し込んでください。プラグを外すときも、まっすぐに引き抜いてください。



- ・カメラの充電ランプが緑色でゆっくり点滅し、充電が始まります。
- ・本体充電ACアダプターで接続中は、撮影できません。

充電ランプ	意味
ゆっくり点滅（緑色）	充電中です。
消灯	ゆっくりした点滅（緑色）から消灯に変わると、充電の完了です。残量がない電池の場合、フル充電までの時間は約3時間です。
速い点滅（緑色）	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5℃～35℃の室内で充電してください。 USB ケーブルまたは本体充電 AC アダプターが正しく接続されていないか、電池の異常です。正しく接続し直るか、電池を交換してください。

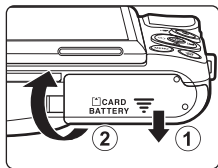
3 コンセントから本体充電ACアダプターを外し、USBケーブルを外す

パソコンや充電器で充電する

- このカメラをパソコンに接続しても、電池を充電できません（□83）。
- 別売のバッテリーチャージャー MH-66を使うと、カメラを使わずに電池を充電できます。

準備3 SDカードを入れる

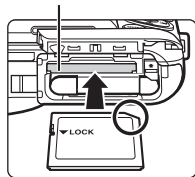
- 1 電源をOFFにして、電池/SDカードカバーを開ける



- 2 SDカードを入れる

・ カチッと音がするまで差し込みます。

SDカードスロット

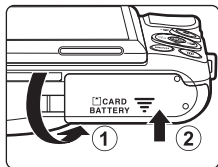


逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。



- 3 電池/SDカードカバーを閉じる



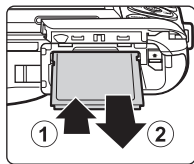
✔ SDカードの初期化について

他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。カードをカメラに入れ、MENUボタンを押し、セットアップメニューの「カードの初期化」を選びます。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバーを開けます。

SDカードを指で軽く押し込むと (①)、SDカードが押し出されます (②)。



✔ 高温注意

カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。

内蔵メモリーとSDカードについて

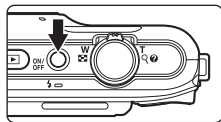
撮影したデータは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

準備4 表示言語と日時を設定する

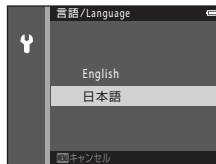
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面で \odot が点滅します。

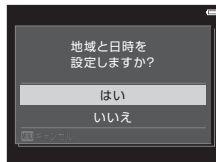
1 電源スイッチを押して、電源をONにする



2 マルチセレクターの ▲▼ で表示言語を選び、 \odot ボタンを押す



3 [はい] を選び、 \odot ボタンを押す

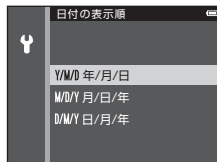


4 自宅のある地域(タイムゾーン)を選び、OKボタンを押す

- 夏時間(サマータイム)を設定するには、▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、地図の上部に☀️マークが表示されます。オフにするには▼を押します。



5 日付の表示順を選び、OKボタンを押す



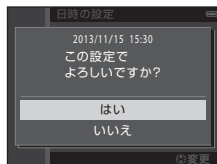
6 日時を合わせ、OKボタンを押す

- 項目を選ぶ：◀▶を押します([年]、[月]、[日]、[時]、[分]に切り換わります)。
- 日時を合わせる：▲▼を押します。
- 設定を確認する：[分]を選び、OKボタンを押します。



7 [はい]を選び、OKボタンを押す

- 設定が完了すると、レンズが繰り出し、撮影画面になります。



言語や日時の設定をやり直すときは

- Y セットアップメニュー (□□78) で [言語/Language] または [地域と日時] を設定します。
- Y セットアップメニュー → [地域と日時] → [タイムゾーン] でマルチセレクターの▶を押し、▲で夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、▼でオフにすると1時間戻ります。

時計用電池について

- カメラの時計は、内蔵のバックアップ用電池で動いています。バックアップ用電池は、カメラに電池を入れるかACアダプター（別売）を接続すると、約10時間で充電され、時計を数日間動かします。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備4 表示言語と日時を設定する」手順3 (□□16)

撮影日入りの画像をプリントするには

- セットアップメニュー (□□78) で [デート写し込み] を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- [デート写し込み] を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」(□□85) を使うと、日付を入れてプリントできます。

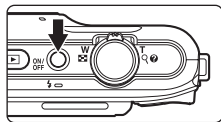


A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

ステップ1 電源をONにする




1 電源スイッチを押す

- ・液晶モニターが点灯します。
- ・もう一度、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

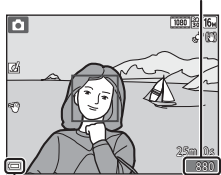


2 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する

電池残量表示

表示	意味
	電池残量はあります。
	電池残量が少なくなりました。
 ❗ 電池残量が ありません	撮影できません。 充電してください。


記録可能コマ数



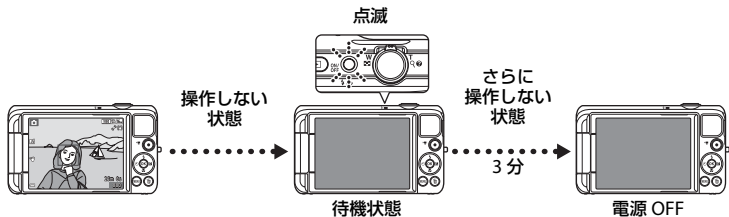
電池残量表示



記録可能コマ数

撮影できるコマ数が表示されます。

- ・SDカードをカメラに入れていないときは、が表示され、画像を内蔵メモリーに記録します。

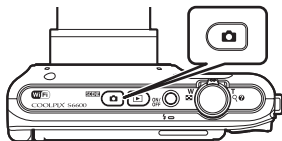
オートパワーオフについて




- ・ 待機状態になるまでの時間は、約1分です。セットアップメニュー (□78) の [オートパワーオフ] で変更できます。
- ・ 待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押すか、液晶モニターを開きます。
 - 電源スイッチ、シャッターボタン、 (撮影モード) ボタン、 (再生) ボタン、または ● (▶動画撮影) ボタン

ステップ2 撮影モードを選ぶ

1 カメラボタンを押す




2 マルチセレクターの ▲▼ で撮影モードを選び、OKボタンを押す


- ここでは、 (オート撮影) モードを例に説明します。
- 選んだ撮影モードは、電源をOFFにしても記憶されます。




撮影モードの種類

 おまかせシーン 📖32


構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

 シーン 📖34


撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

S0  スペシャルエフェクト 📖40

画像に効果を付けて撮影できます。

 ベストフェイス 📖42

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

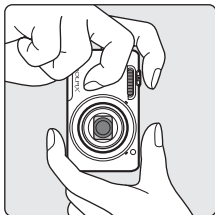
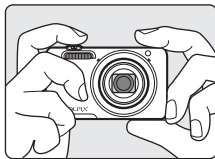
 オート撮影 📖44

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

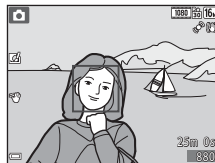
ステップ3 カメラを構え、構図を決める

1 カメラをしっかりと構える

- ・ レンズやフラッシュ、AF補助光、マイク、スピーカーなどに、指などがかからないようにご注意ください。
- ・ 縦位置で撮影するときは、フラッシュの位置をレンズよりも上にご覧ください。



2 構図を決める



📌 三脚の使用について

- 以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。
 - 暗い場所で撮影するとき
 - フラッシュモード (□□50) を ④ (発光禁止) にして撮影するとき
 - 望遠側で撮影するとき
- 三脚などで固定して撮影するときは、補正機能の誤動作を防ぐためセットアップメニュー (□□78) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

ズームを使う

ズームレバーを動かすと、ズーム位置が変わります。

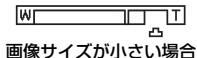
- 被写体を大きく写す：T (望遠) 側
 - 広い範囲を写す：W (広角) 側
- 電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- ズームレバーを動かすと、液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。
- 光学ズームの最大倍率でズームレバーをT側に動かすと、電子ズームが作動し、さらに約4倍まで拡大できます。



📌 電子ズームと画質の劣化について

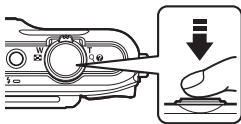
電子ズーム使用時は、ズームの量が△マークを超えると画質が劣化します。△マークの位置は撮影時の画像サイズが小さいほど右に移動します。



ステップ4 ピントを合わせ、シャッターをきる

1 シャッターボタンを半押しする

- ・ ピントが合うと、「AF エリア表示」が緑色に点灯します（複数のエリアが点灯することがあります）。
- ・ 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□7）が緑色に点灯します。
- ・ AF エリアまたは AF 表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて半押しをやり直してください。



2 半押ししたまま、シャッターボタンを全押しして撮影する





3 撮影した画像に効果を付けるときは、Ⓚ ボタンを押す

- ・ 効果を選ぶ画面が表示されます。
→ 「クイックエフェクトを使う」(□45)
- ・ MENU ボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- ・ 撮影メニュー (□57) の [クイックエフェクト] を [しない] にすると、右の画面を表示しないようにできます。



シャッターボタンの半押しと全押し

<p>半押し</p> 	<p>シャッターボタンを軽く抵抗を感じるまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。</p>
<p>全押し</p> 	<p>シャッターボタンを深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれいです。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。</p>

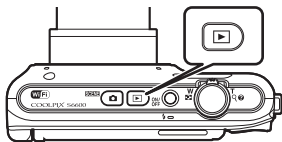
撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

ステップ5 画像を再生する

1 再生ボタンを押す

- 電源OFFの状態では再生ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。




2 マルチセレクターで前後の画像を表示する

- ▲▼◀▶を長押しすると、画像が速く切り換わります。

前の画像を表示



次の画像を表示

- 撮影に戻るには、ボタンまたはシャッターボタンを押します。



クイックエフェクト機能について

- 1コマ表示でOK: [✓]が表示されたときは、OKボタンを押すと画像に効果を付けられます。
- 効果の選択画面が表示されたら、マルチセクターの▲▼◀▶で効果を選んでOKボタンを押し、確認画面で[はい]を選んでOKボタンを押すと、別画像として保存されます。



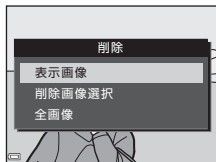
ステップ6 画像を削除する

- 1 削除したい画像を表示して **⏏** ボタンを押す



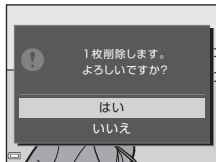
- 2 マルチセレクターの **▲▼** で削除方法を選び、**OK** ボタンを押す

- 削除をやめるには、**MENU** ボタンを押します。



- 3 **【はい】** を選び、**OK** ボタンを押す

- 削除した画像は、元に戻せません。
- 削除をやめるときは、**【いいえ】** を選び、**OK** ボタンを押します。



削除画像選択画面の操作方法

1 マルチセクターの◀▶で削除したい画像を選び、▲で☑を表示する

- ・ 選択を解除するときは、▼を押して☑を非表示にします。
- ・ スームレバー (□□1) を T (Q) 側に動かすと1コマ表示に、W (☒) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。



2 削除したい画像すべてに☑を表示し、OKボタンを押して選択を決定する

- ・ 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

✓ 連写グループの削除について

- ・ 代表画像のみの表示中に (□□71) ☑ ボタンを押して代表画像を削除すると、代表画像を含む同じ連写グループの画像すべてが削除されます。
- ・ 連写グループ内の画像を個別に削除するときは、OK ボタンを押して1コマずつに展開表示してから☑ボタンを押します。




✍ 撮影モードで画像を削除する

撮影モードで☑ボタンを押すと、最後に保存した画像を削除できます。











いろいろな撮影

SCENE (おまかせシーン) モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

撮影画面にする →  (撮影モード) ボタン →  (おまかせシーン) モード →  ボタン



- カメラを被写体に向けてると、以下の撮影シーンに合わせた設定に自動的に切り換わります。

	ポートレート (1~2人のアップ)
	ポートレート (3人以上の撮影や背景の面積が大きい構図)
	風景
	夜景ポートレート (1~2人のアップ)
	夜景ポートレート (3人以上の撮影や背景の面積が大きい構図)
	夜景
	クローズアップ
	逆光 (人物以外の撮影)
	逆光 (人物撮影)
	その他の撮影シーン

- ピント合わせをするエリア (AF エリア) は、構図によってカメラが選びます。カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います (□64)。



撮影シーンの判別について

- 電子ズーム使用時は、撮影シーンの判別は  になります。
- 撮影状況によっては、意図したシーンに切り換わらないことがあります。その場合は、 (オート撮影) モードに切り換えるか、目的に合ったシーンモードを選んで撮影してください (□□22)。

(おまかせシーン) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (□□49)
- セルフタイマー (□□51)
- 露出補正 (□□54)

シーンモード（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → （上から2番目のアイコン*） →
▶▶▶▲▼◀▶▶ → シーンを選択する → ボタン

* 前回選んだシーンのアイコンが表示されます。

ポートレート (初期設定)	風景* ¹	スポーツ* ² (35)	夜景ポートレート (35)
パーティー* ² (35)	ビーチ* ²	雪* ²	夕焼け* ^{2, 3}
トワイライト* ^{1, 3}	夜景* ¹ (36)	クローズアップ (36)	料理 (36)
ミュージアム* ² (37)	打ち上げ花火* ^{1, 3} (37)	モノクロコピー* ² (37)	逆光* ² (37)
かんたんパノラマ (38)	ペット (39)		

*¹ ピントは遠景に合います。

*² ピントは画面中央のエリアで合わせます。

*³ シャッタースピードが遅くなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (78) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

各シーンの説明を見るには（ヘルプ表示）

シーンの種類を選び、ズームレバー (1) を **T** () 側に動かすと、各シーンの説明を表示できます。元の画面に戻るには、もう一度ズームレバーを **T** () 側に動かします。



ヒントとご注意

📷 スポーツ

- シャッターボタンを全押ししている間、約2コマ/秒の速さで約6コマまで連写できます（画像モードが📷のとき）。
- 画像モード、SDカードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1コマ目と同じ条件に固定されます。

📷 夜景ポートレート

- 📷 [夜景ポートレート] を選ぶと表示される画面で、[手持ち撮影] または [三脚撮影] を選びます。
- [手持ち撮影]（初期設定）：
 - 画面左上の📷アイコンが緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 連写している間、被写体が動くと画像がゆがんだり、重なったり、ぼやけることがあります。
- [三脚撮影]：
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの [手ブレ補正] (📷78) を [する] に設定していても、手ブレ補正を行いません。

📷 パーティー

- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー (📷78) の [手ブレ補正] を [しない] にしてください。

🌃 夜景

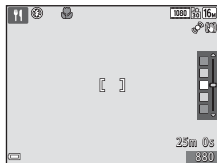
- **🌃 [夜景]** を選ぶと表示される画面で、**[手持ち撮影]** または **[三脚撮影]** を選びます。
- **[手持ち撮影]** (初期設定) :
 - 画面左上の **🌃 アイコン** が緑色のときは、シャッターボタンを全押しすると連続撮影し、画像を重ね合わせて1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角(写る範囲)は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。
- **[三脚撮影]** :
 - シャッターボタンを全押しすると、スローシャッターで1コマ撮影します。
 - セットアップメニューの **[手ブレ補正]** (📐78) を **[する]** に設定していても、手ブレ補正を行いません。

🔍 クローズアップ

- マクロモード (📐53) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- ピントを合わせるエリア (AFエリア) を移動できます。🔍 ボタンを押し、マルチセレクターの **▲▼◀▶** で移動し、🔍 ボタンで決定します。

🍴 料理

- マクロモード (📐53) が ON になり、最短撮影距離で撮影可能な位置までズームが自動的に移動します。
- 色合いをマルチセレクターの **▲▼** で調節できます。色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- ピントを合わせるエリア (AFエリア) を移動できます。🔍 ボタンを押し、マルチセレクターの **▲▼◀▶** で移動し、🔍 ボタンで決定します。



血 ミュージアム

- シャッターボタンを押し続けると、最大10コマ連写し、最も鮮明に撮れている1コマだけをカメラが自動で選んで記録します（BSS（ベストショットセクター））。
- フラッシュは発光しません。



☀ 打ち上げ花火

- シャッタースピードは、4秒に固定されます。
- 使用できるズーム位置は、4カ所に限定されます。


□ モノクロコピー

- 近くのを撮影するときは、マクロモード（53）を併用してください。

☀ 逆光

-  [逆光] を選ぶと表示される画面で、HDR（ハイダイナミックレンジ）合成の [する] / [しない] を撮影シーンに合わせて選びます。
- [しない]（初期設定）：人物が陰にならないように、フラッシュを発光します。
 - シャッターボタンを全押しすると、1コマ撮影します。
- [する]：明暗差の大きい風景撮影に適しています。
 - シャッターボタンを全押しすると、高速で連写し、以下の2コマを記録します。
 - HDR合成していない画像
 - HDR合成した画像（白とびや黒つぶれを抑えた画像）
 - 記録可能コマ数が1コマの場合は、撮影時にD-ライティング（70）で暗い部分を明るく補正し、1コマ記録します。
 - シャッターボタンを全押しした後に静止画が表示されるまで、カメラを動かさないように、しっかり持ってください。撮影終了後、撮影画面に切り換わるまで、電源をOFFにしないでください。
 - 保存される画像の画角（写る範囲）は、撮影画面で見える範囲よりも狭くなります。

□ かんたんパノラマ

- □ [かんたんパノラマ] を選ぶと表示される画面で、撮影する範囲を [標準 (180°)] または [ワイド (360°)] から選びます。
- ズーム位置は広角側に固定されます。
- シャッターボタンを全押しして指を離し、続けて、水平方向にカメラをゆっくり動かします。設定の範囲を撮影し終わると撮影が終了します。
- ピントと露出は、撮影開始時に固定されます。
- 撮影した画像は、1 コマ再生して  ボタンを押すと、スクロールして再生します。
- このカメラでは画像編集はできません。

✔ パノラマ写真をプリントするときの注意

プリンターの設定によっては、全景をプリントできないことがあります。また、プリンターによっては、プリントできないことがあります。

🐾 ペット

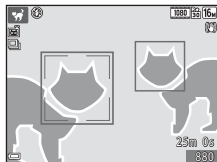
- ・犬または猫にカメラを向けると、顔を検出してピントを合わせます。初期設定では、ピントが合うと自動でシャッターがきれます（ペット自動シャッター）。
- ・🐾 [ペット] を選ぶと表示される画面で、[単写] または [連写] を選びます。
 - [単写]：検出した顔にピントが合うたびに、1コマ撮影します。
 - [連写]：検出した顔にピントが合うたびに、3コマ連写します。

✔ ペット自動シャッターについて

- ・マルチセレクターの◀ (☺) を押すと、[ペット自動シャッター] の設定を変更できます。
 - [📷]：犬または猫の顔を検出し、ピントが合うと自動でシャッターがきれます。
 - [OFF]：犬または猫の顔を検出して、自動でシャッターはきれません。シャッターボタンを押してください。[OFF] のときは、人物の顔も認識します。
- ・[ペット自動シャッター] は、連写で5回繰り返すと [OFF] になります。
- ・[ペット自動シャッター] の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影できます。[連写] 設定時は、シャッターボタンを全押ししている間、連写できます。

✔ AFエリアについて

- ・検出した顔は、黄色い枠で囲まれます。二重枠のAFエリア表示で囲まれた顔にピントが合うと、表示が緑色に変わります。顔を検出していないときは、ピントは画面中央の被写体で合わせます。
- ・撮影条件によっては、顔を検出しないことや、犬や猫以外に枠が表示されることがあります。



スペシャルエフェクトモード（効果を付けて撮影する）

画像に効果を付けて撮影できます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン → S0（上から3番目のアイコン*） → → → 効果を選択する → ボタン

* 前回選んだ効果のアイコンが表示されます。

種類	内容
S0 ソフト*（初期設定）	やわらかな雰囲気にするために、画像全体を少しぼかします。
SE ノスタルジックセピア*	セピア色でコントラストが低めの、昔の写真のような雰囲気にします。
ハードモノクローム	コントラストがはっきりした調子の白黒写真にします。
ハイキー	画像全体を明るいトーンで表現します。
ローキー	画像全体を暗いトーンで表現します。
セレクトカラー	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
POP ポップ	画像全体の色を鮮やかにし、明るい雰囲気にします。
VI 極彩色	画像全体の色を強調し、コントラストがはっきりした写真にします。
絵画調	絵画のような雰囲気にします。
トイカメラ風 1	画像全体を黄色がかった色合いにし、さらに周囲を暗めに表現します。
トイカメラ風 2	画像全体の色を薄くし、さらに周囲を暗めに表現します。
クロスプロセス	特定の色を基調にして、不思議な雰囲気を表現します。
ミラー*	画像中心から左半分を反転して、左右対称な写真にします。

* [動画設定]（□75）によっては、選べない効果があります。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- [セレクトカラー] または [クロスプロセス] を選んだときは、マルチセクターの▲▼でスライダーから色を選びます。

以下の設定をするときは、**OK** ボタンを押して色を選べる状態を解除します。

- フラッシュモード (☞49)
- セルフタイマー (☞51)
- マクロモード (☞53)
- 露出補正 (☞54)




もう一度**OK** ボタンを押すと、再び色を選べる状態になります。



スライダー

ベストフェイスモード（笑顔を撮影する）

カメラが人物の笑顔を検出すると、シャッターボタンを押さなくても自動でシャッターがきれます（笑顔自動シャッター（□□59））。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにできます。

撮影画面にする → （撮影モード）ボタン →  ベストフェイスモード →  ボタン


1 構図を決める

- ・ 人物の顔にカメラを向けてください。

2 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- ・ カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- ・ 笑顔を検出するたびに自動撮影を繰り返します。

3 自動撮影を終了する

- ・ 以下のいずれかの操作で終了します。
 - [笑顔自動シャッター] を [しない] にする
 -  ボタンを押して他の撮影モードに切り換える

ベストフェイスモードについてのご注意

撮影条件などによっては、適切に顔認識や笑顔検出ができないことがあります（□□64）。シャッターボタンを押しても撮影できます。



セルフタイマーランプの点滅について

笑顔自動シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

ベストフェイスモードで設定できる機能

- フラッシュモード (P49)
- セルフタイマー (P51)
- 露出補正 (P54)
- ベストフェイスメニュー (P57)

📷 (オート撮影) モード

基本的な撮影ができます。また、撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変更できます。

撮影画面にする → 📷(撮影モード)ボタン → 📷(オート撮影)モード → OKボタン

- ピント合わせをするエリアは、[AFエリア選択] (☞48) の設定によって異なります。初期設定は、[ターゲットファインドAF] (☞63) です。

📷 (オート撮影) モードで設定できる機能

- フラッシュモード (☞49)
- セルフタイマー (☞51)
- マクロ (☞53)
- 露出補正 (☞54)
- 撮影メニュー (☞57)

クイックエフェクトを使う

📷 (オート撮影) モードでは、シャッターをきったすぐ後に、撮影した画像に効果付けられます。

- 効果をつけた画像は、撮影した画像とは別に、異なるファイル名で保存されます。

1 📷 (オート撮影) モードで静止画を撮影した後に表示される画面で、**OK** ボタンを押す

- MENU ボタンを押すか、無操作で約5秒経過すると撮影画面に戻ります。
- 撮影メニュー (📷57) の [クイックエフェクト] を [しない] にすると、右の画面を表示しないようにできます。



2 マルチセレクターの▲▼◀▶で効果を選び、**OK** ボタンを押す

- ズームレバー (📷1) を **T** (📷) 側に動かすと1コマ表示に、**W** (📷) 側に動かすと一覧表示に切り換わります。
- 効果をつけた画像を保存せずに終了するには、MENU ボタンを押します。確認画面が表示されたら [はい] を選び、**OK** ボタンを押します。



3 [はい] を選び、**OK** ボタンを押す

ジェスチャー操作でセルフタイマー撮影をする

液晶モニターをカメラのレンズ面と同じ方向に向け、液晶モニターに表示されるアイコンに向かって手を動かすと、カウントダウン後、シャッターがきれます。手を動かすエリアによっては、ズームや動画撮影を開始することができます。自分撮りをするときや少し離れた場所から撮影するとき便利です。

シーンモードの [ポートレート]、[夜景ポートレート]、ベストフェイスモード、

📷 (オート撮影) モードで使えます。

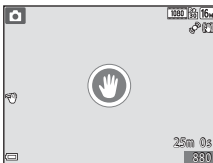
1 液晶モニターを開き、カメラのレンズ面と同じ方向に向ける (📖3)

- ・メッセージが約5秒間表示され、その後、画面中央に👉 (手のひら検出枠) が表示されます。



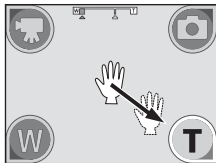
2 画面中央の👉と重なるように、カメラに向かって手をかざす

- ・カメラが手のひらを認識すると、画面中央の👉が👉に変わり、画面四隅に以下のアイコンが表示されます。
 - 📷: 静止画を撮影します。
 - 🎥: 動画撮影を開始します。
 - W: 広角側にズームします。
 - T: 望遠側にズームします。



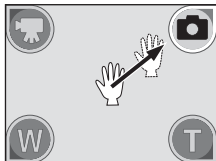
3 構図を決める

- ・ズーム位置を調整するには、**W**（広角ズーム）または**T**（望遠ズーム）の方向に手を動かします。ズーム位置は1段ずつ変わります。
- ・手のひらが検出されなくなった場合、手順2に戻ります。



4 撮影する

- ・**📷**（静止画撮影）または**📹**（動画撮影開始）の方向に手を動かすと、カウントダウン（約3秒）後に撮影します。
- ・動画撮影を終了するには、カメラ本体の**●**（**📹**動画撮影）ボタンを押します。
→ **☑** 撮影した動画の不要な部分をカットするには（**☐☐77**）
- ・撮影が終了すると、手順2に戻ります。

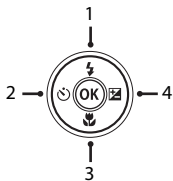


☑ ジェスチャー操作についてのご注意

- ・撮影条件によっては、適切に手のひらや手の動きを検出できないことがあります。
- ・手を動かすときは、手のひらを垂直にカメラと向かい合わせ、そのまま移動してください。
- ・ジェスチャー操作時に制限される機能があります。

マルチセレクターで設定できる機能

設定できる機能は、撮影モードによって、以下のように異なります。



		☑ (おまかせシーン)	シーン	スペシャルエフェクト	ベストフェイス	📷 (オート撮影)
1	⚡ フラッシュモード (□49)	○*	※	○	○*	○
2	🕒 セルフタイマー (□51)	○		○	○*	○
3	👉 マクロ (□53)	×		○	×	○
4	📷 露出補正 (□54)	○		○	○	○

※ 設定によって異なります。

フラッシュを使う

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

1 マルチセレクターの▲(⚡)を押す



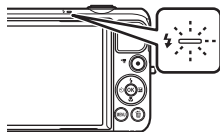
2 フラッシュモード (📖50) を選び、OK ボタンを押す

- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



✓ フラッシュランプについて

- シャッターボタンを半押しすると、フラッシュの状態を確認できます。
 - 点灯：シャッターボタンを全押しすると、発光します。
 - 点滅：フラッシュの充電中です。撮影できません。
 - 消灯：発光しません。
- 電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。



フラッシュモードの種類

AUTO 自動発光

暗い場所などで、必要に応じてフラッシュを発光します。

- 撮影画面のフラッシュモードアイコンは、設定直後のみ表示されます。

赤目軽減自動発光

フラッシュで人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

発光禁止

フラッシュは発光しません。

- 暗い場所で撮影するとき、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。


強制発光

常にフラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。

SLOW スローシンクロ

夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。自動発光でメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景を写します。

フラッシュモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります。
-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

画像の記録時に赤目現象を検出すると、赤目部分を画像補正して記録します。

撮影する際は、以下にご注意ください。

- 画像の記録にかかる時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。


セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒または2秒後にシャッターをきります。
三脚などで固定して撮影するときは、セットアップメニュー（[□78](#)）の **[手ブレ補正]** を **[しない]** にしてください。

1 マルチセレクターの◀ (☺) を押す



2 [☺10s] または [☺2s] を選び、OK ボタンを押す

- [☺10s] (10秒)：記念撮影などに適しています。
- [☺2s] (2秒)：手ブレの軽減に適しています。
- OK ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。
- 撮影モードがシーンモードの **[ペット]** のときは、 (ペット自動シャッター) が表示されます ([□39](#))。セルフタイマーは使えません。



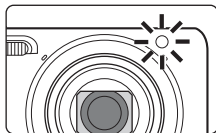
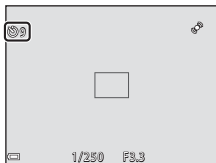
3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。



4 シャッターボタンを全押しする

- カウントダウンが始まります。セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは【OFF】になります。
- カウントダウンを止めるには、もう一度シャッターボタンを押します。



マクロ（接写）モードを使う

被写体に近づいて撮影するときに設定します。

1 マルチセレクターの▼ (👉) を押す



2 [ON] を選び、**OK** ボタンを押す

- **OK** ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。



3 ズームレバーを動かし、👉 マークやズーム表示が緑色になるズーム位置にする

- 緑色で表示されるズーム位置では、レンズ前約10 cmまでの被写体にピント合わせができます。
△マークのズーム位置では、レンズ前約2 cmまでの被写体にピント合わせができます。



✔ フラッシュ撮影についてのご注意

撮影距離が50 cm未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

✎ マクロモードの設定について

- 撮影モードによっては、設定できないことがあります。
- 📷 (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整できます。

1 マルチセレクターの▶ (Fv) を押す



2 補正値を選び、OK ボタンを押す

- 明るくする：「+」側に設定します。
- 暗くする：「-」側に設定します。
- OK ボタンを押さなくても、補正値が設定されます。



露出補正の設定について

-  (オート撮影) モードの場合、設定は電源をOFFにしても記憶されます。

初期設定一覧

各撮影モードの初期設定は以下のとおりです。

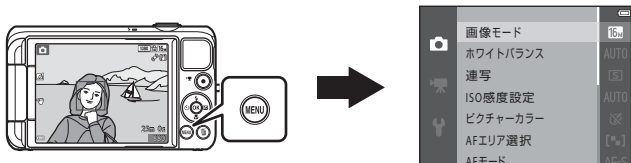
	フラッシュ (□49)	セルフタイマー (□51)	マクロ (□53)	露出補正 (□54)
☺ (おまかせシーン)	📷 ^{※1}	OFF	OFF ^{※2}	0.0
シーン				
👤 (ポートレート)	📷 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🏞️ (風景)	📷 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🏃 (スポーツ)	📷 ^{※3}	OFF ^{※3}	OFF ^{※3}	0.0
🌃 (夜景ポートレート)	📷 ^{※4}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🎉 (パーティー)	📷 ^{※5}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🏖️ (ビーチ)	📷 ^{AUTO}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
❄️ (雪)	📷 ^{AUTO}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🔥 (夕焼け)	📷 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🌃 (トワイライト)	📷 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
🌃 (夜景)	📷 ^{※3}	OFF	OFF ^{※3}	0.0
👤 (クローズアップ)	📷	OFF	ON ^{※3}	0.0
🍴 (料理)	📷 ^{※3}	OFF	ON ^{※3}	0.0
🏛️ (ミュージアム)	📷 ^{※3}	OFF	OFF	0.0
🎆 (打ち上げ花火)	📷 ^{※3}	OFF ^{※3}	OFF ^{※3}	0.0 ^{※3}
📷 (モノクロコピー)	📷	OFF	OFF	0.0

	フラッシュ (□49)	セルフタイマー (□51)	マクロ (□53)	露出補正 (□54)
(逆光)	⚡*6、🔒*6	OFF	OFF*3	0.0
(かんたんパノラマ)	🔒*3	OFF*3	OFF*3	0.0
(ペット)	🔒*3	*7	OFF	0.0
S0 (スペシャルエフェクト)	🔒	OFF	OFF	0.0
(ベストフェイス)	⚡AUTO*8	OFF*9	OFF*3	0.0
(オート撮影)	⚡AUTO	OFF	OFF	0.0

- ※1 判別したシーンに合わせて、カメラが自動でフラッシュモードを設定します。🔒 (発光禁止) に変更できます。
- ※2 変更できません。 に判別されるとマクロモードになります。
- ※3 変更できません。
- ※4 変更できません。赤目軽減で強制発光します。
- ※5 赤目軽減スローシンクロナに切り換わることがあります。
- ※6 [HDR]の[しない]時は⚡(強制発光)に、[HDR]の[する]時は🔒(発光禁止)に固定されます。
- ※7 セルフタイマーは使えません。ペット自動シャッター (□39) のON/OFFを設定できます。
- ※8 [目つぶり軽減]が[する]のとき、および[笑顔自動シャッター]が[する(連写)]または[する(BSS)]のときは使えません。
- ※9 [笑顔自動シャッター]を[しない]にすると設定できます。

MENU ボタンで設定できる機能（撮影メニュー）

撮影モードでMENUボタンを押すと、以下のメニューを設定できます（□4）。



設定できるメニューは、撮影モードによって、以下のように異なります。

	おまかせ シーン	シーン※2	スペシャル エフェクト	ベスト フェイス	オート撮影
画像モード※1	○	○	○	○	○
ホワイトバランス	×	×	×	×	○
連写	×	×	×	×	○
ISO感度設定	×	×	×	×	○
ピクチャーカラー	×	×	×	×	○
AFエリア選択	×	×	×	×	○
AFモード	×	×	×	×	○
クイックエフェクト	×	×	×	×	○
美肌効果	×	×	×	○	×
笑顔自動シャッター	×	×	×	○	×
目つぶり軽減	×	×	×	○	×

※1 設定を変更すると、他の撮影モードでも同じ画像モードの設定になります。

※2 シーンによっては、他の項目を設定できます。→「ヒントとご注意」（□35）




撮影メニューの種類

項目	内容
画像モード	記録する画像サイズと画質の組み合わせを設定します。 • 初期設定：[6M 4608 × 3456]
ホワイトバランス	画像を見た目に近い色で記録するように、天候や光源に合わせて設定します。 • 初期設定：[オート]
連写	単写または連続撮影の設定をします。 • 初期設定：[単写]
ISO感度設定	被写体の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 • 初期設定：[オート] [オート]では、ISO感度が高くなると、撮影画面に[ISO]が表示されます。
ピクチャーカラー	画像の色調を設定します。 • 初期設定：[標準カラー]
AFエリア選択	AF（オートフォーカス）でピント合わせをするエリアの決め方を設定します。 • 初期設定：[ターゲットファインド AF] ([63])
AFモード	シャッターボタンを半押ししたときのみピント合わせを行う [シングルAF]、または半押ししていないときもピント合わせを行う [常時AF] に設定します。 • 初期設定：[シングル AF]
クイックエフェクト	クイックエフェクト機能 ([45]) のON/OFFを設定します。 • 初期設定：[する]

項目	内容
美肌効果	人物の肌（顔）をなめらかにする度合いを設定します。 ・ 初期設定：[標準]
笑顔自動シャッター	人物の笑顔を検出したときに、自動でシャッターをきる設定をします。 ・ 初期設定：[する (BSS)]
目つぶり軽減	撮影のたびに2回シャッターをきり、人物が目をつぶっていない画像を優先して1コマだけ記録します。 ・ 初期設定：[しない]

組み合わせて使えない機能

他のメニュー設定と組み合わせて使えない機能があります。

制限される機能	設定	内容
フラッシュモード	連写 (☐58)	[単写] 以外にすると、フラッシュは使えません。
	目つぶり軽減 (☐59)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、フラッシュは使えません。
	笑顔自動シャッター (☐59)	[する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、フラッシュは使えません。
セルフタイマー	笑顔自動シャッター (☐59)	[笑顔自動シャッター] にすると、セルフタイマーは使えません。
	AFエリア選択 (☐58)	[ターゲット追尾] にすると、セルフタイマーは使えません。
マクロモード	AFエリア選択 (☐58)	[ターゲット追尾] にすると、マクロモードは使えません。
画像モード	連写 (☐58)	連写の設定によって、[画像モード] は以下に固定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [高速連写 120 fps] 時：  (画像サイズ：640 × 480 ピクセル) • [高速連写 60 fps] 時：  (画像サイズ：1280 × 960 ピクセル) • [マルチ連写] 時：  (画像サイズ：2560 × 1920 ピクセル)
ホワイトバランス	ピクチャーカラー (☐58)	[白黒]、[セピア]、または [クール] にすると、[ホワイトバランス] は [オート] に固定されます。

制限される機能	設定	内容
連写	セルフタイマー ( 51)	[先取り撮影] に設定時、セルフタイマーにすると、[単写] に固定されます。
ISO感度設定	連写 ( 58)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps]、[マルチ連写] にすると、[ISO感度設定] は明るさに応じて自動的に設定されます。
AFエリア選択	ホワイトバランス ( 58)	[ターゲットファインドAF] 時、[ホワイトバランス] を [オート] 以外にすると、主要な被写体は検出しません。
クイックエフェクト	連写 ( 58)	連写のときは、撮影時のクイックエフェクト機能は使えません。
笑顔自動シャッター	目つぶり軽減 ( 59)	[目つぶり軽減] を [する] に設定すると、[笑顔自動シャッター] の [する (連写)] または [する (BSS)] は [する (単写)] に固定されます。
目つぶり軽減	笑顔自動シャッター ( 59)	[笑顔自動シャッター] を [する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、[目つぶり軽減] は [しない] に固定されます。
モニター設定	クイックエフェクト ( 58)	[クイックエフェクト] を [する] に設定すると、[撮影後の画像表示] は [する] に固定されます。
デート写し込み	連写 ( 58)	[先取り撮影]、[高速連写 120 fps]、[高速連写 60 fps] にすると、日時を写し込みません。

制限される機能	設定	内容
モーション検知	連写 (□58)	[単写] 以外にすると、[モーション検知] は作動しません。
	ISO感度設定 (□58)	ISO感度を [オート] 以外にすると、[モーション検知] は作動しません。
	AFエリア選択 (□58)	[ターゲット追尾] にすると、[モーション検知] は作動しません。
	笑顔自動シャッター (□59)	[する (連写)] または [する (BSS)] に設定すると、[モーション検知] は作動しません。
目つぶり検出設定	連写 (□58)	[単写] 以外にすると、目つぶり検出をしません。
電子ズーム	連写 (□58)	[マルチ連写] にすると、電子ズームは使えません。
	AFエリア選択 (□58)	[ターゲット追尾] にすると、電子ズームは使えません。
シャッター音	連写 (□58)	[単写] 以外にすると、シャッター音は鳴りません。

☑ 電子ズームについてのご注意

- 撮影モードや設定によっては、電子ズームを使えません。
- 電子ズーム使用時は、画面中央でピント合わせを行います。

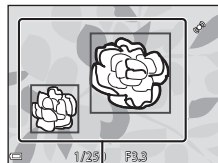
ピント合わせについて

ピントを合わせる位置（AFエリア）は、撮影モードによって異なります。

ターゲットファインドAFについて

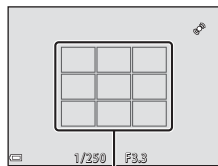
📷（オート撮影）モードの「AFエリア選択」（📖58）が「ターゲットファインドAF」のときは、シャッターボタンを半押しすると、以下の動作でピントを合わせます。

- カメラが主要な被写体を検出し、ピントを合わせます。ピントが合うと、AFエリア表示が緑色に点灯します。カメラが人物の顔を検出したときは、人物を優先します。



AF エリア

- カメラが主要な被写体を検出していないときは、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。ピントが合うと、ピントが合った場所のAFエリア表示が緑色に点灯します。





AF エリア

📌 ターゲットファインドAFについてのご注意

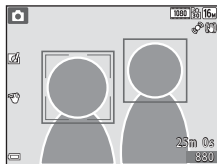
- どの被写体を主要被写体とみなして検出するかは、撮影条件によって異なります。
- 「ホワイトバランス」の設定によっては、主要被写体を検出できないことがあります。
- 以下のような場合、カメラが主要被写体を適切に検出できないことがあります。
 - 被写体が非常に暗い、または明るい
 - 主要被写体の色に特徴が少ない
 - 主要被写体が画面の周辺部にある
 - 主要被写体と同じパターンを繰り返す

顔認識撮影について



以下の撮影モードでは、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

-  (おまかせシーン) モード (□□32)
- シーンモード (□□34) の [ポートレート]、[夜景ポートレート]
- ベストフェイスモード (□□42)
-  (オート撮影) モード (□□44) で [AF エリア選択] (□□58) を [顔認識オート] に設定時

複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。



顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しした場合：





-  (おまかせシーン) モードでは、撮影シーンによってAFエリアが変わります。
- [ポートレート]、[夜景ポートレート]、またはベストフェイスモードでは、画面中央にピントが合います。
-  (オート撮影) モードでは、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。
- 以下のような場合は、顔を認識できません。
 - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
 - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている

美肌機能について

以下の撮影モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し、画像処理で肌（顔）をなめらかにします（最大3人）。

- ベストフェイスモード（42）
 - 美肌効果の度合いを設定できます。
- （おまかせシーン）モード（32）
- シーンモード（34）の [ポートレート]、[夜景ポートレート]

撮影後にも、記録した画像に [メイクアップ効果] で [美肌] などの編集ができます（70）。

美肌機能についてのご注意

- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。


また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- ・ 被写体が非常に暗い
- ・ 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- ・ 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ・ 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- ・ 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- ・ 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、等距離にある別の被写体にピントを合わせて、フォーカスロック撮影（[□67](#)）をお試しください。

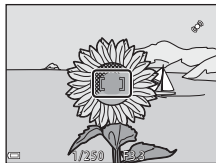
フォーカスロック撮影

ピントを合わせたい被写体にAFエリアが合わない場合は、フォーカスロック撮影をおすすめします。

1  (オート撮影) モードで [AFエリア選択] を [中央] に設定する (□57)

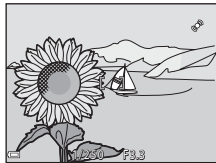
2 被写体を画面中央に配置し、シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。



3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。



4 シャッターボタンを全押しして撮影する

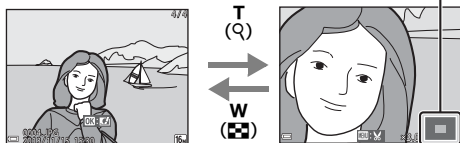


いろいろな再生

拡大表示

再生モードの1コマ表示(□28)でズームレバーをT(Q)側に動かすと、拡大表示されます。

表示位置ガイド



1コマ表示


拡大表示

- 拡大率を調節するには、ズームレバー (W (W) / T (Q)) を動かします。
- 表示位置を移動するには、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
- 顔認識またはペット検出して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します (連写した画像を除く)。顔以外の位置を拡大するには、いったん拡大率を変更してから▲▼◀▶を押します。
- 拡大表示中にⓧボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。



画像をトリミングするには

拡大表示中にMENUボタンを押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。

サムネイル表示/カレンダー表示

再生モードの1コマ表示（□□28）でズームレバーを**W**（）側に動かすと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。



- ・表示コマ数は、ズームレバー（**W**（）/**T**（））で変更できます。
- ・サムネイル表示でマルチセクターの▲▼◀▶を押して、画像を選び◎ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示します。
- ・カレンダー表示で▲▼◀▶を押して、日付を選んで◎ボタンを押すと、その日に撮影した画像に移動して表示します。

カレンダー表示についてのご注意

日時を設定せずに撮影した画像は、カレンダー表示で「2013年1月1日」の画像として扱われます。

MENU ボタンで設定できる機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中にMENU ボタンを押すと、以下のメニュー操作ができます（□4）。

項目	内容
簡単レタッチ※	コントラストと色の鮮やかさを高めた画像を簡単に作成します。
D-ライティング※	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
赤目補正※	フラッシュ撮影時の「赤目現象」によって瞳の部分が赤くなってしまった画像を補正します。
メイクアップ効果※	撮影した画像から人物の顔を検出し、メイクアップ効果を付けます。
プリント指定	どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ設定します。
スライドショー	画像を1コマずつ順番に自動再生します。
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、保護します。
画像回転	表示画像を縦位置または横位置に回転します。
スモールピクチャー※	サイズの小さい画像を作成します。
音声メモ	撮影した画像に、カメラのマイクを使って音声メモを付けます。

項目	内容
画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーします。
連写グループ表示方法	連写した一連の画像を1コマずつ表示するか、代表画像のみの表示にするかを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 代表画像の表示中に ⓧ ボタンを押すと、1コマずつ表示します。マルチセクターの ▲ を押すと、代表画像に戻ります。
連写の代表画像選択	連写した一連の画像の代表画像を変更します。
お気に入り登録	お気に入りの画像を選んで登録します。 お気に入り再生モードのときは、表示されません。
お気に入り解除	お気に入り登録を解除します。 お気に入り再生モードのときのみ、表示されます。

※ 編集した画像は、元画像とは別に保存されます。画像によっては編集できない場合があります。

動画を撮影、再生する

動画を撮影する

1 撮影画面を表示する

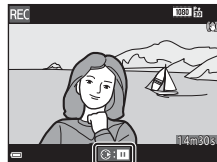
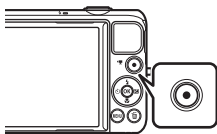
- ・記録できる時間を確認します。
- ・セットアップメニューの【モニター設定】(□□78)の【モニター表示設定】で【動画枠+情報オート】にすると、動画撮影開始前に動画の写る範囲を確認できます。



動画の記録可能時間

2 ● (▶️動画撮影) ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- ・画面中央でピントが合います。
- ・マルチセレクターの▶️を押すと撮影を一時停止し、もう一度▶️を押すと撮影を再開します。(【動画設定】を【iFrame 720/30p】/【iFrame 720/25p】、またはHS動画にした場合を除く)。一時停止したまま約5分経過すると、撮影が終了します。



3 ● (▶️動画撮影) ボタンを押して、撮影を終了する

✓ 動画の連続撮影可能時間

1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。

- 撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。
- カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。
- 実際に記録可能な時間は、画像の絵柄や動き、SDカードの種類によって異なることがあります。

✓ 撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。電池/SDカードカバーを開けたり、電池やSDカードを取り出したりしないでください。撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

✓ 動画撮影についてのご注意

- 動画撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（※21）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 電子ズームを使うと画質が劣化します。
- ズームレバーなどの操作音やズーム、オートフォーカス、手ブレ補正、明るさを変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画撮影中の液晶モニターの表示に、以下のような現象が発生する場合があります。これらの現象は撮影した動画にも記録されます。
 - 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で、画像に横帯が発生する
 - 電車や自動車など、高速で画面を横切る被写体がゆがむ
 - カメラを左右に動かした場合、画面全体がゆがむ
 - カメラを動かした場合、照明などの明るい部分に残像が発生する
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が見れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。

✓ カメラの温度について

- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合があります。
- 動画撮影中にカメラ内部が極端に高温になると、撮影が自動終了します。
自動終了までの残りの秒数（▲10s）が画面に表示されます。
自動終了後、電源もOFFになります。
カメラ内部の温度が下がるまでしばらく放置してからお使いください。

✓ オートフォーカスについてのご注意

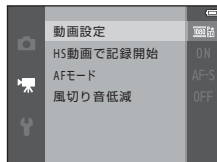
「オートフォーカスが苦手な被写体」(□66) では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に動画メニューの [AFモード] を [シングルAF] (初期設定) にする。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して● (● 動画撮影) ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

MENUボタンで設定できる機能（動画メニュー）

撮影画面にする → MENUボタン → 設定メニューアイコン → OKボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容
動画設定	撮影する動画の種類を選びます。 通常速度の動画と、再生するとスローモーションや早送りになるHS（ハイスピード）動画があります。 ・初期設定：[1080p 1080★/30p] / [1080p 1080★/25p]
HS動画で記録開始	HS動画を撮影するときに、HS動画で開始するか、通常速度で開始するかを設定します。 ・初期設定：[する]
AFモード	動画撮影開始時のピントに固定する [シングルAF]、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す [常時AF] に設定します。 ・初期設定：[シングルAF]
風切り音低減	動画撮影時に風切り音を低減するかどうかを設定します。 ・初期設定：[しない]

動画を撮影、再生する

動画を再生する

▶ ボタンを押して再生モードにします。

動画設定 (📖75) のアイコンが表示されている画像が動画です。

Ⓚ ボタンを押すと、再生できます。

- 音量を調節するには、再生中にズームレバー (📖1) を動かします。



動画設定



音量表示

動画再生中の操作

画面下部には操作パネルが表示されます。

マルチセクターの◀▶で操作パネルのアイコンを選び、

Ⓚ ボタンを押すと以下の操作ができます。



機能	アイコン	内容
巻き戻し	◀	Ⓚ ボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶	Ⓚ ボタンを押している間、早送りします。
一時停止	Ⓚ	一時停止します。一時停止中は、以下の操作ができます。
	◀	コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。
	▶	コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。
	▶	再生を再開します。
再生終了	Ⓚ	撮影した動画の必要な部分だけを切り出し、別ファイルとして保存します。
	Ⓚ	1コマ表示に戻ります。

✂ 撮影した動画の不要な部分をカットするには

ジェスチャー操作で撮影した動画に、動画撮影を終了する場面 (□47) が写ってしまった場合は、動画再生中に一時停止をし、以下の手順で編集します。



1. 操作パネルのⓀを選びⓀボタンを押す
2. 編集操作パネルのⓀ (終点の設定) を選ぶ
3. □ (保存) を選びⓀボタンを押す

動画の削除

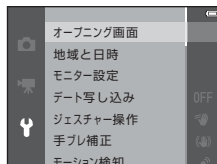
動画を削除するには、1コマ表示 (□28) やサムネイル表示 (□69) で動画を選んでⓀボタンを押します (□30)。


カメラに関する基本設定


MENUボタンで設定できる機能（セットアップメニュー）

MENU ボタンを押す → （セットアップ）メニューアイコン →  ボタン

以下のメニュー項目の設定が変更できます。



項目	内容
オープニング画面	電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。
地域と日時	内蔵時計を合わせます。
モニター設定	モニター表示設定、撮影後の画像表示または画面の明るさを設定します。
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。
ジェスチャー操作	液晶モニターをカメラのレンズ面と同じ方向に向けたときに、ジェスチャー操作機能（  46）を使って撮影するかどうかを設定します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレ補正を設定します。

項目	内容
モーション検知	静止画の撮影時に被写体ブレや手ブレを軽減する「モーション検知」機能を設定します。
AF補助光	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。
電子ズーム	電子ズームの動作を設定します。
操作音	操作音について設定します。
オートパワーオフ	節電のために液晶モニターが消灯するまでの時間を設定します。
メモリーの初期化/ カードの初期化 (フォーマット)	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。
TV出力設定	テレビとの接続に必要な設定をします。
パソコン接続充電	パソコンと接続したときに、カメラ内の電池を充電するかどうかを設定します。
目つぶり検出設定	顔認識撮影したときに、目つぶりを検出するかどうかを設定します。
Wi-Fi設定	カメラとスマートデバイスを接続するためのWi-Fi（無線LAN）ネットワーク情報を設定します。 →「Wi-Fi（無線LAN）を使う」（  80）
Eye-Fi送信機能	市販のEye-Fiカードによるパソコンへの画像送信機能を有効にするかどうかを設定します。
設定クリアー	カメラの設定を初期設定にリセットします。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

Wi-Fi（無線LAN）を使う

Wi-Fi機能でできること

Android OSまたはiOSのスマートデバイスに専用ソフトウェア「Wireless Mobile Utility」をインストールしてカメラと接続すると、以下の操作ができます。

写真を撮る

以下の2つの方法で静止画が撮れます。

- カメラのシャッターをきり、撮影しながら画像をスマートデバイスに取り込む。
- リモート操作※により、スマートデバイスでカメラのシャッターをきり、画像をスマートデバイスに取り込む。

※リモート操作中はカメラの操作はできません。

写真を見る

カメラのSDカードに保存されている画像をスマートデバイスに取り込みます。

スマートデバイスにソフトウェアをインストールする

- 1 スマートデバイスでGoogle PlayストアやApp Storeなどに接続して、「Wireless Mobile Utility」を検索する

• 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。

- 2 説明や情報を確認し、インストールする

• ソフトウェアの詳しい操作方法は、下記のホームページから使用説明書をダウンロードしてご覧ください。

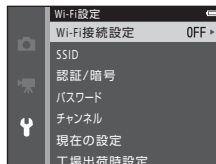
- Android OS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU/>

- iOS : <http://nikonimglib.com/ManDL/WMAU-ios/>

カメラとスマートデバイスを接続する

MENU ボタンを押す → Yメニューアイコン → Wi-Fi設定 → OK ボタン

- 1 マルチセレクターの▲▼で [Wi-Fi接続設定] を選び、OK ボタンを押す



- 2 [する] を選び、OK ボタンを押す



- SSIDとパスワードが表示されます。
- スマートデバイスからの接続通信が3分以内ないと、設定は [しない] になります。



3 スマートデバイスのWi-Fi設定をONにする

- 詳しくは、お使いのスマートデバイスの説明書をご覧ください。
- スマートデバイスに利用可能なネットワーク名 (SSID) が表示されたら、カメラに表示されているSSIDを選びます。
- パスワードの入力を求められたら、カメラに表示されているパスワードを入力します。
- 接続が完了すると撮影画面になり、Wi-Fiアイコンが表示されます (□7)。



4 スマートデバイスにインストール済みの専用ソフトウェアを起動する

- 「写真を撮る」または「写真を見る」を選ぶ画面が表示されます。
- 「カメラと接続できません。」が表示されたときは、**[Wi-Fi接続設定]** をやり直してください。

Wi-Fi接続を解除するには

- カメラの電源をOFFにする
- スマートデバイスのWi-Fi設定をOFFにする

Wi-Fi接続についてのご注意

- 電波の出力が禁止されている場所では、**[Wi-Fi接続設定]** を **[しない]** にしてください。
- カメラのWi-Fi機能は、SDカードを挿入していないと使えません。Eye-Fiカードが挿入されているときは、Wi-Fi機能が使えません。
- Wi-Fi接続中は、**[オートパワーオフ]** は無効になります。
- 電池は、**[Wi-Fi接続設定]** を **[する]** にしていると通常より消耗します。
- 液晶モニターの電池残量表示が  のときは、**[Wi-Fi接続設定]** を選ばません。また、Wi-Fi接続中に液晶モニターの電池残量表示が  になると、接続が解除されます。

セキュリティ設定について

Wi-Fi機能を搭載したカメラは、セキュリティー（暗号化やパスワード）を設定しないと、第三者に不正侵入される可能性があります。

お客様の判断と責任で、必要なセキュリティーを設定してからお使いください。
セットアップメニュー (□79) の **[Wi-Fi設定]** で設定できます。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

カメラとの接続方法

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。



- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。接続を外すときは、カメラの電源をOFFにしてからプラグを外してください。
- 別売のACアダプター EH-62Gを使うと、家庭用コンセントからこのカメラへ電源を供給できます。EH-62G以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因になります。
- 接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する



撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。

接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）の映像プラグと音声プラグ（ステレオ）をテレビの外部入力端子に接続します。または、市販のHDMIケーブルをテレビのHDMI入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する



パソコンに画像を取り込んで、簡易編集や画像データの管理ができます。

接続方法：USBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に、**ViewNX 2** をパソコンにインストールしてください（☞85）。
- パソコンから電源を供給するタイプの他の **USB** 機器がパソコンに接続されているときは、接続する前にそれらの機器をパソコンから取り外してください。同時に接続すると動作に不具合が発生したり、パソコンからの供給電力が過大になり、カメラ、SDカードなどが壊れるおそれがあります。

パソコンを使わずにプリントする



PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。

接続方法：USBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。付属CD-ROM「ViewNX 2」を使ってインストールできます。



ViewNX 2をインストールする

- ・ インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。

対応OS

Windows

Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP

Macintosh

Mac OS X 10.6、10.7、10.8

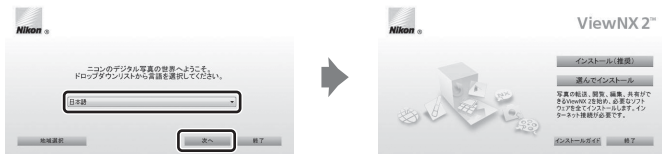
対応OSに関する最新情報、動作環境の詳細は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2」をCD-ROMドライブに入れる

- Windows: ディスク (CD-ROM) に対する操作の指示が画面に表示されたときは、画面の指示に従って **[Welcome]** を開きます。
- Mac OS: **[ViewNX 2]** ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の **[Welcome]** アイコンをダブルクリックします。

2 [言語選択] ダイアログで言語を選択し、**[Welcome]** ウィンドウを開く

- **[言語選択]** ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、**[地域選択]** をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
- **[次へ]** をクリックすると、**[Welcome]** ウィンドウが開きます。



3 インストールを開始する

- インストールをする前に、**[Welcome]** ウィンドウの **[インストールガイド]** をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
- **[Welcome]** ウィンドウの **[インストール (推奨)]** をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- **[ソフトウェアのダウンロード]** 画面が表示されたら、**[同意して、ダウンロード開始]** をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows : [はい] をクリックします。
- Mac OS : [OK] をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

- ViewNX 2 (以下の3つのモジュールで構成されています)
 - Nikon Transfer 2 : 画像をパソコンに取り込みます
 - ViewNX 2 : 取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
 - Nikon Movie Editor : 取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker (複数コマに分割して撮影した風景などを、1枚のパノラマ写真に合成できます)

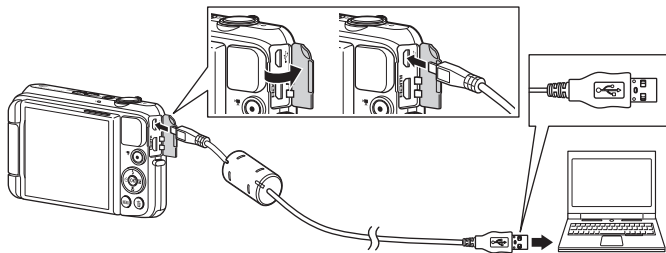
6 CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1 画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFFにしてから、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する。カメラの電源が自動的にONになります。
内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。



- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SDカードをセットする。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選び画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

・ Windows 7 をお使いの場合

右の画面が表示されたときは、次の手順で Nikon Transfer 2 を選びます。

- 1 [画像とビデオのインポート] の [プログラムの変更] をクリックすると表示される画面で、[画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2 使用] を選んで、[OK] をクリックする
- 2 [画像ファイルを取り込む] をダブルクリックする



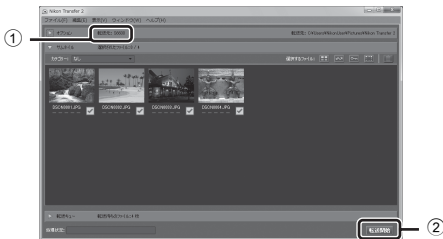
SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

☑ USBケーブル接続についてのご注意

USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

2 画像をパソコンに取り込む

- ・ Nikon Transfer 2の [オプション] の [転送元] に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します (①)。
- ・ [転送開始] ボタンをクリックします (②)。



- ・ 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます (ViewNX 2の初期設定)。

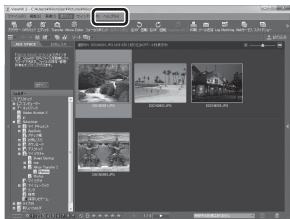
3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFFにして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2 のヘルプを参照してください。



ViewNX 2 を手で起動するには

- Windows : デスクトップの [ViewNX 2] のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS : Dock の [ViewNX 2] アイコンをクリックします。



付録、索引

取り扱い上のご注意	☀:2
カメラについて.....	☀:2
電池について.....	☀:3
本体充電 AC アダプターについて.....	☀:5
メモリーカードについて.....	☀:5
お手入れ方法	☀:6
クリーニングについて.....	☀:6
保管について.....	☀:7
故障かな？と思ったら	☀:8
主な仕様	☀:17
推奨 SD カード.....	☀:21
索引	☀:24
アフターサービスについて	☀:31

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□vii~x)をお守りください。

● 強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズやレンズフィルターに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください

カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください

温度差が極端な場所(寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合)にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因になります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 電池やACアダプターやメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください

電源がONの状態を取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● 液晶モニターについて

・モニター画面(電子ビューファインダー含む)は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯(白、赤、青、緑)あるいは非点灯(黒)の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。

- ・屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- ・液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押しついたりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□x～xii)をお守りください。

● 使用上のご注意

- ・使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- ・周囲の温度が0℃～40℃の範囲を超える場所で使うと、性能劣化や故障の原因になります。
- ・万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたら、すぐに使用を中止して、ご購入店または二コンサービス機関に修理を依頼してください。
- ・カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属のバッテリーケースに入れてください。

● 充電について

撮影の前に充電してください。付属の電池は、ご購入時にはフル充電されておりません。

- ・周囲の温度が5℃～35℃の室内で充電してください。
- ・電池内部の温度が高い状態では、充電ができなかつたり、不完全な充電になったりし、性能劣化の原因にもなります。カメラの使用直後など、電池内部の温度が高くなっているときは、電池の温度が下がるのを待ってから充電してください。
このカメラを本体充電ACアダプターまたはパソコンに接続して充電する場合、電池の温度が0℃以下、45℃以上のときは、充電をしません。
- ・充電が完了した電池を、続けて再充電すると、性能が劣化します。
- ・充電直後に電池の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備電池をご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する

電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。

消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● 電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭き取ってください。

● 残量のなくなった電池は充電する

残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、電池の寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなった電池は、充電してからお使いください。

● 保管について

- 電池を使わないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。取り付けたままにすると、電源を切っていても微小電流が流れ続けて過放電状態になり、使えなくなることがあります。
- 電池は、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- 電池は、付属のバッテリーケースに入れて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15℃～25℃くらいの乾燥した場所をおすすめします。暑い場所や極端に寒い場所は避けてください。

● 寿命について

電池をじゅうぶんに充電しても、使用期間が極端に短くなってきたときは、寿命です。新しい電池をお買い求めください。

● リサイクルについて



充電を繰り返して劣化し、使えなくなった電池は、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にビニールテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

数字の有無と数値は電池によって異なります。


本体充電ACアダプターについて

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(□xii～xiii)をお守りください。


- ・ 本体充電ACアダプター EH-70P に対応している機器以外で使わないでください。
- ・ EH-70P以外の本体充電ACアダプター、USB-ACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- ・ EH-70Pは、家庭用電源のAC 100～240 V、50/60 Hzに対応しています。日本国外では、必要に応じて市販の変換プラグアダプターを装着してお使いください。変換プラグアダプターは、あらかじめ旅行代理店などで確かめのうえ、お買い求めください。

メモリーカードについて

● 使用上のご注意

- ・ メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード→21
- ・ お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ・ ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について

- ・ SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- ・ 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。
未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- ・ SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- ・ SDカードを入れたあとにカメラに「このカードは初期化されていません。初期化しますか?」の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、【いいえ】を選んでください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、【はい】を選んでボタンを押してください。
- ・ 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
 - 電池/SDカードカバーを開けて、カードや電池を脱着する
 - カメラの電源をOFFにする
 - ACアダプターを外す

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディ

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。

カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- ・ 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- ・ テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- ・ 温度が50℃以上、または-10℃以下の場所
- ・ 湿度が60%を超える場所

電池の保管は、「取り扱い上のご注意」の「電池について」の「保管について」(☆4)をお守りください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいと感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。



電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源ONの状態、カメラの操作ができない	<ul style="list-style-type: none">画像や動画の記録などの処理が終わるまでお待ちください。操作できない状態が続くときは、電源をOFFにする操作をしてください。 電源がOFFにならない場合は、電池を入れ直してください。 ACアダプター使用時は付け直してください。 <ul style="list-style-type: none">記録中であったデータは保存されません。保存済みのデータは電池やACアダプターの取り外しでは失われません。	— 20
カメラ内の電池を充電できない	<ul style="list-style-type: none">プラグの接続状態を確認してください。パソコンで充電するときは、以下の原因が考えられます。<ul style="list-style-type: none">セットアップメニュー [パソコン接続充電] が [しない] になっています。カメラの電源をOFFにすると、電池の充電は中止されます。カメラの表示言語と日時を設定していないときや、時計用電池が切れて日時がリセットされたときは充電できません。本体充電ACアダプターで充電してください。パソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されることがあります。パソコンの仕様、設定または状態によっては、充電できないことがあります。	12 79 — 16、18 — —

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
電源をONにできない	電池残量がありません。	20
カメラの電源が突然切れる	<ul style="list-style-type: none"> オートパワーオフ機能が働きました。 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。 カメラの内部が高温になっています。温度が下がるまでしばらく放置してから電源を入れ直してください。 パソコンまたはプリンターとの接続中にUSBケーブルが外れると電源がOFFになります。USBケーブルの接続をやり直してください。 	21 🔍3 — 83、88
液晶モニターに何も映らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源が入っていません。 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、📷 ボタン、▶ ボタン、または🔴 (📽 動画撮影) ボタンを押してください。 フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されています。 カメラとテレビがオーディオビデオケーブルまたはHDMIケーブルで接続されています。 	20 1、21 49 83、88 83
液晶モニターがよく見えない	<ul style="list-style-type: none"> 液晶モニターの明るさを調整してください。 液晶モニターが汚れています。 	78 🔍6
撮影日時が正しく表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 日時を設定していない(撮影時に日時未設定マークが点滅している)場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2013/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー [地域と日時] で日時を正しく設定してください。 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。 	16、78


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー [モニター設定] の [モニター表示設定] が [情報OFF] になっています。	78
[デート写し込み] が選べない	セットアップメニュー [地域と日時] が設定されています。	16、78
[デート写し込み] を有効にしたのに、日付が写し込まれない	<ul style="list-style-type: none"> 日付を写し込めない撮影モードになっています。 動画には写し込みできません。 	78
電源を入れると地域と日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	16、18
設定内容が初期状態に戻ってしまった		
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	電池の温度が高温になっています。電源をOFFにして、電池の温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	—
カメラの温度が高くなる	動画撮影やEye-Fiカードでの画像送信などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなる場合がありますが、故障ではありません。	—
カメラから音がする	[AFモード] の [常時AF] 時や、選んだ撮影モードによっては、オートフォーカスの動作音が聞こえることがあります。	58、75

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	<ul style="list-style-type: none"> • HDMIケーブルまたはUSBケーブルを外してください。 • 本体充電ACアダプターでコンセントに接続しているときは、撮影モードにできません。 	83、88 12
撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> • 再生モードになっているときは、 ボタン、シャッターボタン、または  ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。 	1、28 4 20 49
ピントが合わない	<ul style="list-style-type: none"> • 被写体との距離が近すぎます。おまかせシーンモード、シーンモードの 【クローズアップ】、またはマクロモードでの撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー 【AF 補助光】 を 【オート】 にしてください。 • 電源を入れ直してください。 	32、36、53 66 79 20
画像がぶれる	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュを使ってください。 • ISO感度を上げて撮影してください。 • 手ブレ補正機能やモーション検知機能を使ってください。 • BSS (ベストショットセレクトター) を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください (セルフタイマーを併用すると、より効果的です)。 	49 58 78 37、58 51


こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを④（発光禁止）にしてください。	50
フラッシュが発光しない	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュモードが④（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • ベストフェイスメニューで「目つぶり軽減」が「する」になっています。 • ベストフェイスメニューで「笑顔自動シャッター」が「する（連写）」または「する（BSS）」になっています。 • フラッシュが制限される他の機能が設定されています。 	49 55 59 59 60
電子ズームが使えない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー「電子ズーム」が「しない」になっています。 • 以下の場合、電子ズームは使えません。 <ul style="list-style-type: none"> - シーンモードが「ポートレート」、[夜景ポートレート]、[夜景]、[逆光]（[HDR]を「する」に設定した時）、[かんたんパノラマ]、[ペット] のとき - ベストフェイスモードのとき - 撮影メニュー「連写」が「マルチ連写」のとき - 撮影メニュー「AF エリア選択」が「ターゲット追尾」のとき • ジェスチャー操作中です。 	79 34 42 58 58 46
「画像モード」を選べない	「画像モード」が制限される他の機能が設定されています。	60
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー「操作音」の「シャッター音」が「なし」になっています。「あり」にしても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。	79

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
AF補助光が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> • セットアップメニュー [AF 補助光] が [なし] になっています。[オート] に設定していても、AF エリアの位置やシーンモードによっては点灯しない場合があります。 • ジェスチャー操作中です。 	79 46
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔍6
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスまたは色合いが選ばれていません。	36、58
画像がざらつく	<p>被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フラッシュを使ってください。 • 低いISO感度にしてください。 	49 58
画像が暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> • フラッシュモードが 🔇 (発光禁止) になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。シーンモードの [逆光] にするか、フラッシュモードを 🔊 (強制発光) にしてください。 	49 24 49 54 58 37、49
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	54
赤目以外の部分が補正された	🔍🔴 (赤目軽減自動発光) や、おまかせシーンモード、シーンモードの [夜景ポートレート] の赤目軽減スローシンク口強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。[夜景ポートレート] 以外の撮影モードで、フラッシュモードを 🔍🔴 (赤目軽減自動発光) 以外にして撮影してください。	32、35、49

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
美肌の効果が得られない	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影条件によっては、美肌効果が適切に得られないことがあります。 • 4人以上の顔を撮影した画像は、再生メニュー [メイクアップ効果] の [美肌] をお試しください。 	42 70
画像の記録に時間がかかる	<p>以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • フラッシュを  (赤目軽減自動発光) にして撮影したとき • シーンモードの [夜景]、[夜景ポートレート] または [逆光] ([HDR] を [する] に設定した時) で撮影したとき • 美肌機能で撮影したとき • 連写で撮影したとき 	— 50 35、36、37 59 58
画面や撮影画像にリング状の帯や虹色の縞模様が見える	逆光撮影や、太陽などの非常に強い光源が画面内にある撮影では、リング状の帯や虹色の縞模様 (ゴースト) 等が写し込まれることがあります。光源の位置を変えるか、光源を画面内に入れずに撮影をお試しください。	—

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> このカメラ以外で記録した画像は、再生できないことがあります。 このカメラ以外で記録した動画は、再生できません。 パソコンで加工したデータは、再生できないことがあります。 	—
画像の拡大表示ができない	<ul style="list-style-type: none"> 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。 	—
音声メモを録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 動画には音声メモを付けられません。 このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラで再生できません。 	— 70
画像編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> 画像によっては編集できません。編集で作成した画像は、再編集できないことがあります。 内蔵メモリー / SD カードに空き容量がありません。 このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 動画は、画像編集できません。 	38 — 70 —
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は回転できません。	—
画像がテレビに映らない	<ul style="list-style-type: none"> セットアップメニュー [TV 出力設定] の [ビデオ出力] または [HDMI] が正しく設定されていません。 HDMI マイクロ端子と USB / オーディオビデオ出力端子の両方にケーブルが接続されています。 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。 	79 83、88 15

こんなときは	考えられる原因や対処法	
カメラをパソコンに接続しても、 Nikon Transfer 2 が自動起動しない	<ul style="list-style-type: none"> • カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。 Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。 	20 20 83、88 — 85 90
カメラをプリンターに接続しても、 PictBridge 起動画面が表示されない	PictBridge 対応プリンターの種類によっては、 [パソコン接続充電] を [オート] に設定していると、 PictBridge 起動画面が表示されず、プリントできない場合があります。 [パソコン接続充電] を [しない] にしてプリンターに接続し直してください。	79
プリントする画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。 	14 15
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge 対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。 	83 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S6600

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	1602万画素
撮像素子	1/2.3型 原色CMOS、総画素数1679万画素
レンズ	光学12倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.5-54.0 mm (35 mm判換算25-300 mm相当の撮影画角)
開放F値	f/3.3-6.3
レンズ構成	7群9枚 (EDレンズ1枚)
電子ズーム倍数	最大4倍 (35 mm判換算で約 1200 mm相当の撮影画角)
手ブレ補正機能	レンズシフト方式
ブレ軽減機能	モーション検知 (静止画)
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離範囲	<ul style="list-style-type: none">・ 先端レンズ面中央から約 50 cm ~∞ (広角側)、約 1.5 m ~∞ (望遠側)・ マクロモード時は先端レンズ面中央から約 2 cm ~∞ (広角側)
AFエリア	顔認識オート、マニュアル (99点)、中央、ターゲット追尾、ターゲットファインドAF
画像モニター	2.7型TFT液晶、反射防止コート付き、約 46万ドット 輝度調節機能付き (5段階)
視野率 (撮影時)	上下左右とも約97% (対実画面)
視野率 (再生時)	上下左右とも約99% (対実画面)
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー (約25 MB)、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
対応規格	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画 : JPEG 音声メモ : WAV 動画 : MOV (映像 : H.264/MPEG-4 AVC、音声 : LPCMステレオ)

記録画素数
(画像モード)

- 16M (高画質) [4608 × 3456★]
- 16M [4608 × 3456]
- 8M [3264 × 2448]
- 4M [2272 × 1704]
- 2M [1600 × 1200]
- VGA [640 × 480]
- 16 : 9 [4608 × 2592]
- 1 : 1 [3456 × 3456]

ISO感度
(標準出力感度)

- ISO 125 ~ 1600
- ISO 3200、Hi 1 (ISO 6400 相当) (オート撮影モード時に設定可能)

露出

測光モード

マルチパターン測光、中央部重点測光 (電子ズームが2倍未満のとき)、スポット測光 (電子ズームが2倍以上のとき)

露出制御

プログラムオート、露出補正 (±2段の範囲で1/3段刻み) 可能

シャッター方式

メカニカルシャッターとCMOS電子シャッターの併用

シャッタースピード

- 1/2000 ~ 1 秒
- 1/4000 秒 (高速連写時の最高速)
- 4 秒 (シーンモードの [打ち上げ花火])

絞り

電磁駆動によるNDフィルター (-2 AV) 選択方式

制御段数

2 (f/3.3、f/6.6 [広角側])

セルフタイマー

約 10秒、約 2秒

フラッシュ

調光範囲
(ISO感度設定オート時)

約 0.5~3.0 m (広角側)

約 1.5~1.8 m (望遠側)

調光方式

モニター発光によるTTL自動調光

インターフェース

Hi-Speed USB

通信プロトコル

MTP、PTP

ビデオ出力

NTSC、PALから選択可能

HDMI出力

オート、480p、720p、1080iから選択可能

入出力端子

オーディオビデオ (AV) 出力/デジタル端子 (USB)、HDMIマイクロ端子 (Type D) (HDMI出力)

表示言語	日本語、英語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL19 (リチウムイオン充電池：付属) × 1個 ACアダプター EH-62G (別売)
充電時間	約 3時間 (本体充電ACアダプター EH-70P使用時、残量のない状態からの充電時間)
電池寿命※1	
静止画撮影時	約 150コマ (EN-EL19使用時)
動画撮影時 (実撮影電池寿命) ※2	約 25分 (EN-EL19使用時)
三脚ネジ穴	1/4 (ISO 1222)
寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 96.9×57.1×27.2 mm (突起部除く)
質量	約 165 g (電池、SDメモリーカード含む)
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下 (結露しないこと)
Wi-Fi (無線LAN)	
準拠規格	IEEE 802.11b/g/n (無線LAN標準プロトコル)
伝送方式	IEEE 802.11b : DBPSK, DQPSK, CCK IEEE 802.11g : OFDM IEEE 802.11n : OFDM
通信距離	約 10 m
使用周波数範囲 (中心周波数)	2412～2462 MHz (1～11チャンネル)
データ転送速度 (実測値)	IEEE 802.11b : 5 Mbps IEEE 802.11g : 20 Mbps IEEE 802.11n : 20 Mbps
セキュリティ	WPA2
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

- ・ 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による温度条件23℃（±3℃）で、フル充電電池使用時のものです。
- ※1 電池寿命は、撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などの使用状況によって異なります。
- ※2 動画の連続撮影可能時間（1回の撮影で記録可能な時間）は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。
カメラが熱くなった場合、連続撮影可能時間内でも動画撮影が終了することがあります。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL19

形式	リチウムイオン充電電池
定格容量	DC 3.7 V、700 mAh
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 31.5×39.5×6 mm
質量	約 14.5 g（バッテリーケースを除く）

本体充電ACアダプター EH-70P

電源	AC 100～240 V、50/60 Hz、0.07～0.044 A
定格入力容量	7～10.56 VA
定格出力	DC 5.0 V、550 mA
使用温度	0℃～40℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 55×22×54 mm
質量	約 47 g

説明書について

- ・ 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ・ 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB
TOSHIBA	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Lexar	-	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

※3 SDXC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

- 上記SDカードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。



AVC Patent Portfolio Licenseに関するお知らせ

本製品は、お客様が個人使用かつ非営利目的で次の行為を行うために使用される場合に限
り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること（以下、エンコードしたものをAVCビデオ
といいます）

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビ
デオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオを
デコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも許諾されて
いません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。iFrameのロゴおよびシンボルは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc. (アドビシステムズ社)の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

HDMI

- Wi-FiおよびWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- AndroidとGoogle Playは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

FreeType License (FreeType2)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The FreeType Project (<http://www.freetype.org>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

MIT License (HarfBuzz)

本製品のソフトウェアの著作権の一部は、© 2013 The HarfBuzz Project (<http://www.freedesktop.org/wiki/Software/HarfBuzz>) のものです。すべての権利はその所有者に帰属します。

索引

マーク・英数

🔍 おまかせシーンモード.....	32
📷 シーンモード.....	34
SO スペシャルエフェクトモード.....	40
😊 ベストフェイスモード.....	42
📷 オート撮影モード.....	22、44
▶ 再生モード.....	28
🔑 セットアップメニュー.....	78
T 望遠ズーム.....	25
W 広角ズーム.....	25
Q 拡大表示.....	68
📷 サムネイル表示.....	69
🔍 ヘルプ.....	34
📷 撮影モードボタン.....	1、22
▶ 再生ボタン.....	1、28
📷 (📷 動画撮影) ボタン.....	2、72
MENU メニューボタン.....	4、57、70、75、78
🗑️ 削除ボタン.....	30
⚡ フラッシュモード.....	49
🕒 セルフタイマー.....	51
📷 マクロモード.....	53
📷 露出補正.....	54
1 コマ表示.....	68
AC アダプター.....	83
AF エリア.....	26
AF エリア選択.....	58
AF 表示.....	7
AF 補助光.....	1、79
AF モード.....	58、75
AV ケーブル.....	84





BSS.....	37
D- ライティング.....	70
Eye-Fi 送信機能.....	79
HDMI ケーブル.....	84
HDMI マイクロ端子.....	1
HDR.....	37
HS 動画.....	75
HS 動画で記録開始.....	75
ISO 感度.....	58
Nikon Transfer 2.....	87、89
Panorama Maker.....	87
PictBridge.....	84
SD カード.....	14
SD カードスロット.....	14
SD カードの初期化.....	15、79
TV 出力設定.....	79
USB/ オーディオビデオ出力端子.....	83、88
USB ケーブル.....	83、88
ViewNX 2.....	85
Wi-Fi 設定.....	79、80

ア

赤目軽減自動発光.....	50
赤目補正.....	70
打ち上げ花火 🎆.....	34、37
笑顔自動シャッター.....	59
液晶モニター.....	2、3、6、📷6
オーディオビデオケーブル.....	83
オート撮影モード.....	22、44
オートパワーオフ.....	21、79
オートフォーカス.....	58、75


オープニング画面	78
お気に入り解除	71
お気に入り登録	71
音声入力 / 映像入力端子	84
音声メモ	70
音量	77

カ




カードの初期化	15、79
絵画調 	40
顔認識撮影	64
拡大表示	68
風切り音低減	75
画像回転	70
画像コピー	71
画像サイズ	58
画像モード	58
画面の明るさ	78
カレンダー表示	69
かんたんパノラマ 	34、38
かんたんパノラマ再生	38
簡単レタッチ	70
逆光 	34、37
強制発光	50
記録可能コマ数	20
記録可能時間	72、73
クイックエフェクト	29、45
クローズアップ 	34、36
クロスプロセス 	40
言語 / Language	79
広角ズーム	25
光学ズーム	25
硬調モノクローム 	40
極彩色 VI	40

サ

再生	28、68、76
再生メニュー	70
再生モード	28
削除	30
撮影	22、24、26
撮影後の画像表示	78
撮影メニュー	58
撮影モード	22
サマータイム	17、18
サムネイル表示	69
三脚ネジ穴	2、  19
シーンモード	34、35
ジェスチャー操作	46、78
自動発光	50
絞り値	27
シャッタースピード	27
シャッターボタン	1、26
充電器	13
充電ランプ	2、13
常時 AF	58、75
初期化	15、79
シングル AF	58、75
ズーム	25
ズームレバー	1、25
ストラップ	3
ストラップ取り付け部	1
スピーカー	2
スペシャルエフェクトモード	40
スポーツ 	34、35
スモールピクチャー	70
スライドショー	70
スローシンクロ	50
スローモーション撮影	75

接写.....	53
設定クリアー.....	79
セットアップメニュー.....	78
セルフタイマー.....	51
セルフタイマーランプ.....	1、52
セレクトカラー 	40
操作音.....	79
ソフト SO	40



タ



ターゲットファインド AF	58、63
タイムゾーン.....	18
ダイレクトプリント.....	84
端子カバー.....	1
単写.....	58
地域と日時.....	16、78
デート写し込み.....	18、78
手ブレ補正.....	78
テレビ.....	84
電源.....	20
電源スイッチ / 電源ランプ.....	1、20
電子ズーム.....	25、79
電池.....	10、12、18
電池 /SD カードカバー.....	2、10、14
電池残量表示.....	20
電池ロックレバー.....	10
トイカメラ風 1 	40
トイカメラ風 2 	40
動画再生.....	76
動画撮影.....	72
動画設定.....	75
動画編集.....	77
動画メニュー.....	75
トワイライト 	34

ナ




内蔵メモリー.....	15、20
内蔵メモリーの初期化.....	79
内蔵メモリー表示.....	7、9
夏時間.....	17、18
日時の設定.....	16、78
ノスタルジックセピア SE	40

ハ





バージョン情報.....	79
パーティー 	34、35
ハイキー 	40
パソコン.....	84、88
パソコン接続充電.....	79
発光禁止.....	50
バッテリーチャージャー.....	13
半押し.....	27
ビーチ 	34
ピクチャーカラー.....	58
日付の写し込み.....	18
日付の表示順.....	17
日付のプリント.....	18
美肌.....	59、65
標準カラー.....	58
ピント.....	26、58
風景 	34
フォーカスロック撮影.....	67
フォーマット.....	79
フラッシュ.....	1、49
フラッシュモード.....	49、50
フラッシュランプ.....	2、49
プリンター.....	84
プリント.....	70、84
プリント指定.....	70

プロテクト設定	70
ベストショットセレクト	37
ベストフェイスメニュー	57
ベストフェイスモード	42
ペット 	34、39
ペット自動シャッター	39
ヘルプ	34
望遠ズーム	25
ポートレート 	34
ポップ POP	40
ホワイトバランス	58
本体充電 AC アダプター	12




マ

マイク (ステレオ)	1
マクロモード	53
マルチセクター	2、4
ミュージアム 	34、37
ミラー 	40
無線 LAN	79、80
メイクアップ効果	70
目つぶり軽減	59
目つぶり検出設定	79
メモリー残量	20
メモリーの初期化	79
モーション検知	79
モニター設定	78
モニター表示設定	78
モノクロコピー 	34、37

ヤ

夜景 	34、36
夜景ポートレート 	34、35
夕焼け 	34
雪 	34

ラ

料理 	34、36
連写	58
連写グループ表示方法	71
連写の代表画像選択	71
レンズ	1、  17
レンズバリアー	1
ローキー 	40
露出補正	54



A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.



A series of ten horizontal dashed lines spanning the width of the page, intended for handwriting practice.

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- ・ 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- ・ 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- ・ お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ・ ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ・ ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ・ ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ・ ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- ・ 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- ・ 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

※ 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

携帯OK

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ビックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※ 宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00 (年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※ 上記のフリーダイヤルはビックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

※ 一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

携帯OK

営業時間：9:30～18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング / サポートページ>

● <http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報をご覧いただけます。

※ 製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

● <http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ビックアップサービス」のお申し込みや修理見積りも金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などをご覧いただけます。

※ お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in China

YP3F01(10)

6MN25810-01

© 2013 Nikon Corporation